

【第53回】

消防救助技術関東地区指導会

実 施 案 内



主 催	一般財団法人全国消防協会関東地区支部
後 援	全国消防長会関東支部
主 管	横浜市消防局

第53回消防救助技術関東地区指導会 スケジュール

7月17日（木）		
開始時間	内 容	場 所
15:00	審判員・都県連絡員会議	レンブラントホテル厚木 2階（暁）
16:00	関東支部常任理事会・関東地区支部役員会	レンブラントホテル厚木 2階（紅）

7月18日（金）			
開始時間	陸上	開始時間	水上
7:30	隊員受付（～8:30）	7:30	隊員受付（～8:30）
		7:40	マネキン点検（～8:30）
8:00	消防長等受付開始	8:40	ウォーミングアップ ①複合検索②基本泳法③溺者搬送
		9:00	ウォーミングアップ ④人命救助⑤水中結索
		9:20	ウォーミングアップ ⑥溺者救助⑦水中検索救助
9:30	開会式 開会宣言 黙とう 国旗掲揚 指導会会長挨拶 来賓祝辞 隊員宣誓 隊員退場	9:40	水上会場施設準備
10:10	① 引揚救助（1:25）	9:50	①複合検索（0:45）
		10:45	②基本泳法（0:40）
11:45	②ロープブリッジ救出（0:50）	11:35	③溺者搬送（0:30）
		12:20	④人命救助（0:20）
12:45	③障害突破（1:45）	12:55	⑤水中結索（0:35）
		13:40	⑥溺者救助（0:30）
		14:20	⑦水中検索救助（0:20）
14:50	技術訓練（0:20） 《栃木県・佐野市消防本部》		
15:15	特別演技（0:10） 《横浜市消防音楽隊》		
15:30	閉会式 表彰 講評 国旗降納 閉会宣言		
15:50	解散		

【回答・問い合わせ先】

お問い合わせは、必ず各都県支部長都市消防本部を通じて「全国消防長会情報管理システム」の『電子会議室※』によりお願いします。

〒240-0001 神奈川県横浜市保土ヶ谷区川辺町2-20
令和7年度 消防救助指導会等 開催地事務局
(横浜市消防局総務部総務課内)

※ 電子会議室とは、全国消防長会情報管理システム内で利用権限のある消防本部会議の開催、参加、閲覧ができるシステムです。

今回は「第53回消防救助技術関東地区指導会」の運営補助を目的に、各都県支部長都市消防本部からの質問事項を開催地事務局が回答する Q&A 方式で本システムを運用します。(電子会議室内の質疑応答は、全ての消防本部が閲覧できます。)

使用方法は、全国消防長会情報管理システムの操作マニュアルをご覧ください。

参考：第53回全国消防救助技術大会の出場割当数

令和7年8月30日(土)に開催される「第53回全国消防救助技術大会」関東地区支部の出場割当は、下表のとおりです。

訓練種別	陸上の部		水上の部	
	訓練種目	出場割当	訓練種目	出場割当
基礎	はしご登はん	10	複合検索	9
	ロープブリッジ渡過	10	基本泳法	9
連携	ロープ応用登はん	10	溺者搬送	5
	ほふく救出	10	人命救助	2
	ロープブリッジ救出	9	溺者救助	4
	引揚救助	7	水中結索	4
	障害突破	7	水中検索救助	2

※ 陸上の部「はしご登はん」「ロープブリッジ渡過」「ロープ応用登はん」「ほふく救出」については、各都県に1組の出場が割り当てられます。

目次

《実施案内》

1 日時	・・・1
2 場所	
3 主催等	
4 運営体制	
5 訓練項目・参加隊員数	
6 次第	・・・2

《運営関係》

1 会場・駐車場	・・・3
2 服装・受付等	・・・4
3 会場施設	・・・5
4 都県連絡員の任務等	・・・6
5 指導会中止時の連絡等	

《訓練関係》

1 訓練実施要領	・・・7
2 ウォーミングアップ	
3 審判員の任務等	
4 訓練結果	・・・8
5 表彰状の受領について	
6 訓練資機材の搬入等	
7 訓練場内への立入制限等	
8 施設開放訓練について	

《その他》

1 宿泊等の申し込み	・・・9
2 昼食	
3 写真及び動画の取扱い	
4 神奈川県内消防重機の展示等について	
5 その他	
6 各種回答、申し込み(各種調査表)	・・・10

《資料関係》

資料1 開閉会式要領	・・・11
資料2 訓練進行時系列	・・・16
資料3 会場アクセス	・・・17
資料4 駐車場及びシャトルバス乗降場所等案内図	・・・20
資料5 会場全体図	・・・22
資料6 会場詳細図	・・・23
資料7 防災管理棟内等 案内図	・・・24
資料8 審判員訓練種目分担表	・・・27
資料9-1 訓練進行要領(陸上の部)	・・・28
資料9-2 訓練進行要領(水上の部)	・・・31
資料9-3 種目別訓練実施フロー(水上の部)	・・・35
資料10-1 訓練施設概要	・・・37
資料10-2 陸上訓練施設概要	・・・39
資料10-3 水上訓練施設概要	・・・44
資料11 神奈川県内消防重機の展示等について	・・・45

《各種様式》

様式1 種目別出場隊員名簿(陸上の部)	・・・46
様式2 種目別出場隊員名簿(水上の部)	・・・49
様式3 外字使用調査票	・・・53
様式4 重複出場隊員調査表	・・・54
様式5 訓練用具借用調査表	・・・55
様式6 隊員変更届出書	・・・56
様式7 服装(同一仕様)に係る報告書(陸上の部)	・・・57
様式8 施設開放訓練希望調査表	・・・58

第53回消防救助技術関東地区指導会実施案内

【実施内容】

1 日 時

令和7年7月18日（金） 9時30分から15時50分まで

2 場 所

神奈川県厚木市下津古久280
神奈川県総合防災センター・神奈川県消防学校

3 主催等

- (1) 主 催 一般財団法人全国消防協会関東地区支部
- (2) 後 援 全国消防長会関東支部
- (3) 主 管 横浜市消防局

4 運営体制

- (1) 指導会役員
 - ア 会 長 地区支部長
 - イ 副会長 都県支部長
- (2) 指導会委員 参会消防長
- (3) 審判役員
 - ア 審判長 長野市消防局長
 - イ 陸上審判部長 千葉市消防局警防部長
 - ウ 水上審判部長 東京消防庁警防部長
 - エ 審判員 各都県担当消防本部職員

5 訓練項目・参加隊員数

「第53回消防救助技術関東地区指導会」のチーム数及び参加隊員数は下表のとおりです。

訓練種別	陸上の部			水上の部					
	訓練種目	チーム数	隊員数	訓練種目	チーム数	隊員数			
基礎				複合検索	-	25人			
				基本泳法	-	30人			
連携				溺者搬送	20	40人			
				人命救助	10	30人			
				ロープブリッジ救出	28	112人	溺者救助	12	36人
				引揚救助	24	120人	水中結索	18	54人
	障害突破	26	130人	水中検索救助	9	36人			
合計	362人			251人					
技術	佐野市消防本部（栃木県）								

※ 水上の部技術訓練は、全国大会での出場割当が関東地区支部にないため実施いたしません。

6 次第

- (1) 開会式 ※「開閉会式要領」(資料1)
 - 9:27 隊員入場
 - 9:30 開会宣言 指導会副会長(千葉市消防局 局長)
 - 9:32 黙とう
 - 9:33 国旗掲揚
 - 9:35 挨拶 指導会会長(関東地区支部長 (横浜市消防局 局長))
 - 9:40 来賓祝辞 一般財団法人全国消防協会会長、横浜市長
 - 9:50 隊員宣誓 隊員代表(横浜市消防局 隊員)
 - 9:53 隊員退場
- (2) 訓練
「訓練進行時系列」(資料2)のとおりとします。
- (3) 特別演技
15:10 横浜市消防音楽隊
- (4) 閉会式 ※「開閉会式要領」(資料1)
 - 15:27 隊員入場
 - 15:30 表彰
 - 15:40 講評 指導会会長(関東地区支部長 (横浜市消防局 局長))
 - 15:45 国旗降納
 - 15:47 閉会宣言 指導会副会長(さいたま市消防局 局長)
 - 15:50 解散

【運営関係】

1 会場・駐車場

(1) 会場案内

「会場アクセス」(資料3)を参照のうえ、御来場ください。

(2) 駐車場案内

駐車場の場所は「駐車場及びシャトルバス乗降場所等 案内図」(資料4)のとおりです。

指定されている場所以外の近隣商業施設駐車場への駐車及び会場周辺での路上駐車が問題となっています。そのような行為は絶対にしないでください。

ア 利用申込

駐車場の利用を希望する場合は、別途案内の「全国消防長会情報管理システム」から報告してください。

なお、駐車場の利用に当たっては、台数に限りがありますので、乗り合いによる来場の御協力をお願いします。状況に応じて、台数の制限を行う場合がございますので、御了承のうえ、お申込みください。

イ 駐車券

駐車場の利用申込みを行った消防本部には、事前に「全国消防長会情報管理システム」により駐車券を送付します。駐車券は印刷のうえ持参し、駐車場敷地内へ進入する際に係員に明示するとともに、係員の指示に従って駐車してください。

また、駐車中は運転席のダッシュボード上に駐車券を置き、外から識別できるようにしてください。

ウ 利用開始時間

各駐車場は、指導会当日の決められた時間のみ駐車可能としておりますので、利用開始時間は厳守願います。

駐車場	利用開始時間
第1～第3駐車場	7:00
第4駐車場 (ジ アウトレット湘南平塚)	8:00

(3) シャトルバス

ジ アウトレット湘南平塚から指導会会場の間でのみ、無料のシャトルバスを運行します。所要時間は約10分です。

一般来場者(応援の消防職員も含まれます。)は「ジ アウトレット湘南平塚」の駐車場を御利用のうえ、シャトルバスを御利用ください。

【時刻表】

時間	平塚アウトレット発	時間	県消防学校発
8	30・40・50	8	
9	00・10・20・30・40・50	9	
10	00・20・40	10	00・20・40
11	00・20・40	11	00・20・40
12	00・20・40	12	00・20・40
13	00・20・40	13	00・20・40
14	00・20・40	14	00・20・40
15	00・20	15	00・10・20・30・40・50
16		16	00・10・20・30

2 服装・受付等

(1) 服装及び受付時間等は、下表のとおりです。

※神奈川県内支援職員（審査員、運営員等）については別途通知します。

参 会 者		服装	胸花	受付時間・場所
来 賓		指定なし	胸花（赤）	8:00～ 本部受付
指導会役員 審 判 長 審 判 部 長	夏制服、夏制帽、短靴	胸花（白）		
消 防 長	指定なし	五方（桃）		
随 行 者		指定なし		8:00～ 本部受付
審 判 員	陸上	活動服、保安帽、編上靴		8:00 陸上エリア北側 訓練役員席
	水上	各本部のポロシャツ又は半袖活動服、活動服ズボン アポロキャップ（運営員用） 運動靴（白を基調とした運動靴）		8:00 水上エリア 訓練役員席
都 県 連 絡 員	各本部のポロシャツ又は半袖活動服、活動服ズボン 各本部のアポロキャップ、運動靴		7:30 隊員受付	
隊 員		【訓練時】 「第53回全国消防救助技術大会実施要領」に定める服装とし、陸上訓練ではゼッケンを着用する。 【開・閉会式・表彰式】 救助服又は活動服、アポロキャップ、編上靴 ※ゼッケン及び革手袋は着用しません。		7:30～8:30 隊員受付

(2) 消防長（又は代理）が参会する場合は、別途案内の「全国消防長会情報管理システム」により報告してください。また、消防長の受付は、指導会会場で済ませたうえ、配付する胸花を着用してください。

(3) 隊員受付は、各消防本部の代表者が行ってください。その際に、出場隊員を確認し、ゼッケン及び隊員名簿等を配付します。終了後、ゼッケンの返却は必要ありません。

(4) 隊員の変更は原則として認めません。ただし、負傷等やむを得ない事由が発生し、審判長が認めた場合に限り、変更できるものとします。この場合、指導会当日の隊員受付時に隊員変更届出書（様式6）を提出してください。

なお、隊員を変更した場合、隊員名簿には反映できません。

3 会場施設

控室及び更衣室等は、下表のとおりです。「会場詳細図」（資料6）及び「防災管理棟内等 案内図」（資料7）を御確認ください。

(1) 控室・更衣室等

控室名	設置場所
来賓控室	防災管理棟2F (講師控室(2)及び会議室)
指導役員・審判長・審判部長控室	防災管理棟3F(中会議室)
参会消防長控室	防災管理棟3F(大会議室)
男性支援職員専用控室・更衣室 (審判員・都県連絡員含む)	教育棟101及び102教室
女性支援職員専用控室・更衣室 (審判員・都県連絡員含む)	防災管理棟3F(第2中会議室)
休憩室(一般来場者除く)	防災管理棟3F(講堂)
参加隊員待機場所・更衣所	屋内訓練棟内
男性水上隊員及び女性隊員更衣所	水上会場内のロッカー室

控室には荷物(私物)を置くことは可能ですが、施錠管理はしませんので、特に貴重品は各自で管理してください。

なお、荷物(私物)の紛失等については、一切の責任を負いません。

(2) トイレ

名称	設置場所
トイレ	防災管理棟1F(屋外)・2F・3F 屋内訓練棟及び水上隊員更衣所 教育棟1階
トイレ(一般来場者専用)	総合防災センター1F・2Fのトイレ
仮設トイレ (陸上事前審査終了後の隊員)	陸上事前審査テント先

(3) 授乳室

名称	設置場所
授乳室	防災管理棟2F講師控室(1) 総合防災センター2Fコミュニケーションルーム

4 都県連絡員の任務等

(1) 隊員受付

7時30分から8時30分まで、出場隊員の確認及び隊員変更の受付を行い、ゼッケン、隊員名簿及び関東地区指導会参加記念品（メダル）等の配付を行ってください。

(2) 隊員の集合状況の確認及び招集

開・閉会式及び訓練並びに表彰の際の隊員集合状況の確認と必要に応じて招集を行ってください。特に表彰の際の代表受賞者の連絡調整、招集に配慮してください。

(3) 表彰状の配付

隊員受付で入賞者に表彰状を配付してください。

(4) 指導会中止時の連絡

指導会中止時に、各参加消防本部代表者へ連絡してください。

(5) その他運営に関すること

ア 上記以外で開催地事務局からの依頼事項について、御協力をお願いします。

イ 指導会当日は、宿泊施設から指導会会場まで及び指導会会場から小田急線本厚木駅まで専用バスを運行します。

ウ サンプルングで提供される飲料水を訓練隊員、審判員及び都県連絡員に各1本配付してください。

5 指導会中止時の連絡等

(1) 指導会は小雨決行としますが、荒天の場合は中止とします。

(2) 中止の場合は、6時00分までに、各都県連絡員へ連絡をします。各都県連絡員は事前に各参加消防本部代表者との連絡体制を確立しておいてください。

(3) 中止に関わる問い合わせは、各参加消防本部代表者へお願いします。

【訓練関係】

1 訓練実施要領

- (1) 訓練の進行は、「訓練進行時系列」（資料2）に基づき実施します。また、訓練会場レイアウトは、「会場詳細図」（資料6）のとおりです。
- (2) 訓練は、「第53回全国消防救助技術大会実施要領」及び「全国消防救助技術大会実施要領質疑応答集」のほか、「訓練進行要領（陸上の部）」（資料9-1）・「訓練進行要領（水上の部）」（資料9-2）・「種目別訓練実施フロー（水上の部）」（資料9-3）に基づき実施します。
- (3) 訓練施設は、「実施要領」に準じて設営します。詳細は、「訓練施設概要」等（資料10-1～3）のとおりです。
- (4) 熱中症対策として、隊員招集場所から隊員待機場所まで飲料水の持ち込みを可とします。隊員待機場所に置いた飲料水は訓練終了後、忘れずに持ち帰るようお願いします。

2 ウォーミングアップ

(1) 陸上の部

- ア ウォーミングアップは、ウォーミングアップエリア（資料6参照）で行ってください。指定場所以外でのランニング等は、事故防止等の観点から厳禁とします。
- イ ウォーミングアップは、都県及び使用時間の割り振りは行いません。ウォーミングアップエリアに単管パイプ等を持ち込むことは認めますが、実施種目の招集完了時間までに必ず撤収してください。
- ウ ウォーミングアップエリアの使用に際しては、衝突などの事故防止のため、お互いに声を掛け合うなど安全管理を徹底してください。

(2) 水上の部

- ア ウォーミングアップは、下表の時間及び各種目開始前の5分間とします。下表の時間については、種目ごと使用時間を割り振りますので、規定時間内に行ってください。
- イ 下表の時間のウォーミングアップについては、資機材等の使用制限はありません。種目開始前の5分間は、資機材等を使用することはできません。

訓練種目	割り振り時間
複合検索・基本泳法・溺者搬送	8：40 ～ 9：00
人命救助・水中結索	9：00 ～ 9：20
溺者救助・水中検索救助	9：20 ～ 9：40

3 審判員の任務等

- (1) 「実施要領」に定める各訓練種目の審査基準項目に従い、訓練行動の審査をお願いします。
- (2) 指導会当日の8時00分までに、審判員は陸上・水上の各訓練役員席に集合してください。（運営関係2 服装・受付等 (1) 下表 受付時間・場所参照）
- (3) 審査担当訓練種目は、「審判員訓練種目分担表」（資料8）のとおりです。詳細は、7月17日（木）に開催する審判員・都県連絡員会議にてお知らせします。
- (4) 指導会当日は、宿泊施設から指導会会場まで及び指導会会場から小田急線本厚木駅まで専用バスを運行します。

4 訓練結果

- (1) 訓練の審査に対する質疑・異議申し立て等は一切受け付けません。
- (2) 訓練結果は、会場内の成績掲示板及び横浜市消防局ホームページに掲載予定ですので御確認ください。
- (3) 減点の開示
減点項目の開示は、消防本部からの求めにより行うものとし、開示内容は「実施要領」に定める審査表の審査基準項目ごとに示します。
開示の方法は、開催日から30日以内に、開催地事務局宛に文書にてメール送付してください。開催地事務局よりメールにて開示します。
《送付先：sy-fcajkanto@city.yokohama.lg.jp》

5 表彰状の受領について

- 各種目減点のないチーム（隊員）を入賞とし、各チーム（隊員）に表彰状を1枚配付します。配付については、訓練結果が発表され次第「隊員受付」で用意し配付しますので、「隊員受付」で各消防本部ごと受領してください。
- ※ 代表受賞に該当のチームまたは隊員は、閉会式で表彰を行いますので「隊員受付」での受領は必要ありません。

6 訓練資機材の搬入等

- 資機材の搬入は、指導会当日のみとなります。会場内へ車で直接乗り入れることはできませんので、必ず、指定した駐車場を利用し搬入してください。
- なお、商業施設敷地内への駐車や、会場周辺の道路への駐停車（資機材の積み下ろし及び隊員乗降を含む）は絶対に行わないでください。

7 訓練場内への立入制限等

- (1) 訓練場内（訓練エリア、事前点検場所）には、審判員、審査員等及び実施訓練種目の出場隊員以外の立入りを禁止します。
- (2) 訓練エリア内での写真及びビデオ等の撮影は、指導会記録担当、報道機関を除いて禁止します。撮影専用エリアはありません。一般見学席からの撮影は可能としますが、長時間にわたる場所取りや三脚の使用などは厳に慎んでください。

8 施設開放訓練について

訓練施設の開放については、次のとおりです。

「基礎訓練」 「連携訓練」	7月1日(火) 11時00分～16時00分 7月2日(水) 10時00分～15時00分 ※終了時刻になりましたら撤収を開始します。
「技術訓練」	7月2日(水) 15時00分～17時00分 ※終了時刻には、撤収完了としてください。

- (1) 開放日に訓練を希望する消防本部は、施設開放訓練希望調査表（様式8）により、開催地事務局あて回答してください。
- (2) 訓練に使用する安全マット、検索通路のポール式、水平ロープ（4線）、各種確保ロープ、各種支点、チルホール、張力計等は開催地事務局で準備します。
- (3) 訓練施設が重複する訓練については、各消防本部の訓練責任者が調整して実施してください。
- (4) 訓練開始時及び終了時、訓練施設の準備・撤収に御協力をお願いします。

【その他】

1 宿泊等の申し込み

宿泊等の申し込み及び料金等については、別途、(株)日本旅行から御案内の申込要項を確認のうえ、下記サイトから申し込みを行ってください。

なお、下段の参加隊員及び一般参加者（消防長含む）については、同サイトにて昼食弁当を有料で斡旋しております。希望される方は申し込んでください。

常任理事 及び 審判部長 審判員 及び 都県連絡員	 <p>・宿泊（レンブラント厚木）の申し込み</p> <p>https://va.apollon.nta.co.jp/kantoshidokaiyakuin2025</p>
参加隊員 一般参加者 (消防長含む)	 <p>・宿泊（周辺ホテル）の申し込み ・昼食弁当の申し込み</p> <p>https://va.apollon.nta.co.jp/kantoshidokai2025</p>

※ 宿泊施設への訓練資器材（空気呼吸器、ロープ、ベニヤ板等）の持ち込み及び施設内での訓練は、厳禁とします。

2 昼食

(1) 指導会役員、審判役員（いずれも随員1名のみ含む。）、審判員及び都県連絡員の昼食弁当は、開催地事務局で準備します。

(2) 参加隊員及び一般参加者（消防長含む）については、前項記載のサイトにて昼食弁当を有料で斡旋しております。希望される方は申し込んでください。

なお、昼食弁当の配付時間は、11時00分から14時30分までとなります。

(3) 弁当引換所から受け取った昼食弁当の容器は、ゴミ箱に捨てずに14時30分までに弁当引換所に返却してください。

(3) 食事場所は各控室を御利用ください。（本部テントでも構いません）

3 写真及び動画の取扱い

支部及び開催地事務局で撮影した写真及び動画は、各消防本部への情報提供やホームページ等で活用する予定です。

掲載等に支障がある場合は、開催地事務局までご連絡ください。

4 神奈川県内消防重機の展示等について

(1) 指導会会場において展示等を行います。詳細は「神奈川県内消防重機の展示等について」（資料11）を参照してください。

(2) 会場内において重機搬送車の移動があります。来場の皆様は誘導員等の指示に従うなど、安全配慮に御協力をお願いいたします。

5 その他

(1) 指導会会場において、次の行為を禁止します。

ア 会場内の全てにわたり、禁酒です。

イ 指定場所以外での喫煙は禁止です。喫煙は指定場所で行ってください、灰皿の設置はしておりませんので、各自で準備をお願いいたします。

喫煙スペースは限りがありますので、お互いに譲り合うなどの配慮をお願いします。

また、喫煙マナーが悪い場合は、途中で敷地内全面禁煙とさせていただく場合があります。皆様の御協力をお願いいたします。

ウ 会場内でのテント（タープ）等の設営や隊員エリアへの椅子やベンチ、テーブル等の持ち込みは禁止します。

エ 会場内では訓練運営に支障となる無線機、トランシーバーの使用を禁止します。

- (2) 会場にゴミステーションを設置しますが、各自持ち帰りの御協力をお願いします。
- (3) 訓練見学及びイベント等の見学は、進行の妨げや一般来場者とのトラブルがないよう十分留意してください。
- (4) 貴重品は、各自責任をもって管理してください。紛失等につきまして、支部及び開催地事務局は一切の責任を負いません。
- (5) 救護所は、防災管理棟1階（資料6参照）に設置します。
- (6) 熱中症対策に関する商品のサンプリングとして、訓練隊員及び運営支援職員に対し飲料水1本の配付がありますので、指導会開催中に隊員受付で受領してください。（開会式前の隊員受付時には、お渡しすることはできません。）また、屋内訓練棟の入口においても、別商品のサンプリングがありますので、適宜御利用いただき熱中症対策に配慮してください。

6 各種回答、申し込み（各種調査表）

各様式等に入力し、下表のとおり回答してください。出場隊員名簿については、とりまとめた後、最終確認で原稿を送付します。名簿確認以降は修正できませんので御了承ください。

名簿確認後に隊員を変更する場合は、指導会当日7時30分から8時30分までに「隊員変更届出書」（様式6）を書面で「隊員受付」に提出してください。ただし、隊員変更は原則認めていません。変更は、やむを得ない事由が発生し、審判長が認めた場合に限りです。

様式	名称	回答期限・方法	
		各消防本部	各都県支部都市消防本部
—	駐車場利用及び指導会参会等調査	6月25日（水） 全国消防長会情報管理システム アンケート機能により報告	—
1-1~2-4	出場隊員名簿	各都県支部長都市消防本部が 定める期限・方法により報告	6月25日（水） 開催地事務局へメール
3	外字使用調査表		
4	重複出場隊員調査表		
5	訓練用具借用調査表	6月25日（水） 開催地事務局へメール	—
6	隊員変更届出書	名簿確認前は随時 開催地事務局へメール ※その後は、当日7:30~8:30	—
7	服装（同一仕様）に係る報告書	6月25日（水） 開催地事務局へメール	—
8	施設開放訓練希望調査表	6月25日（水） 開催地事務局へメール	—

※ 期日までに県指導会が終了していない場合は、終了後速やかに報告するよう願います。

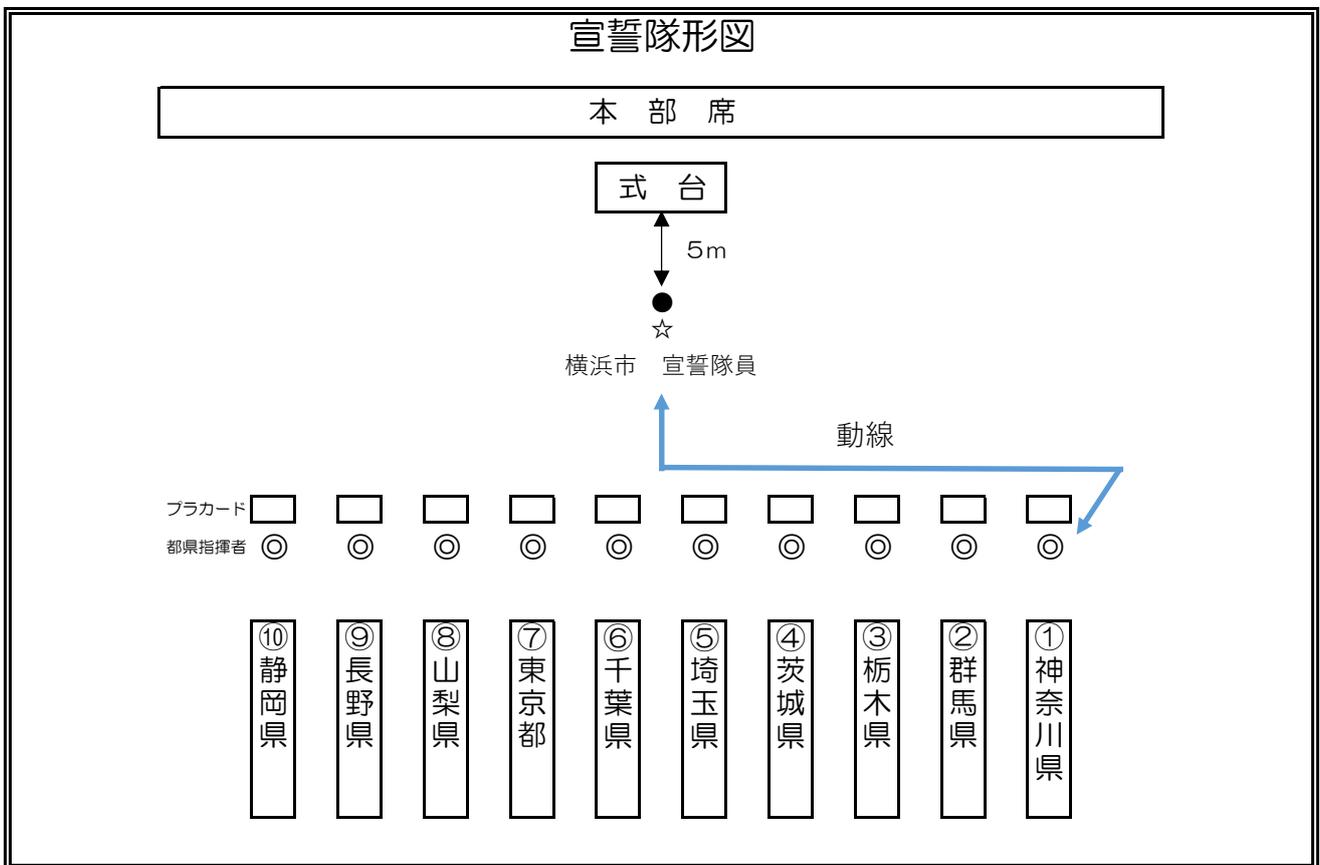
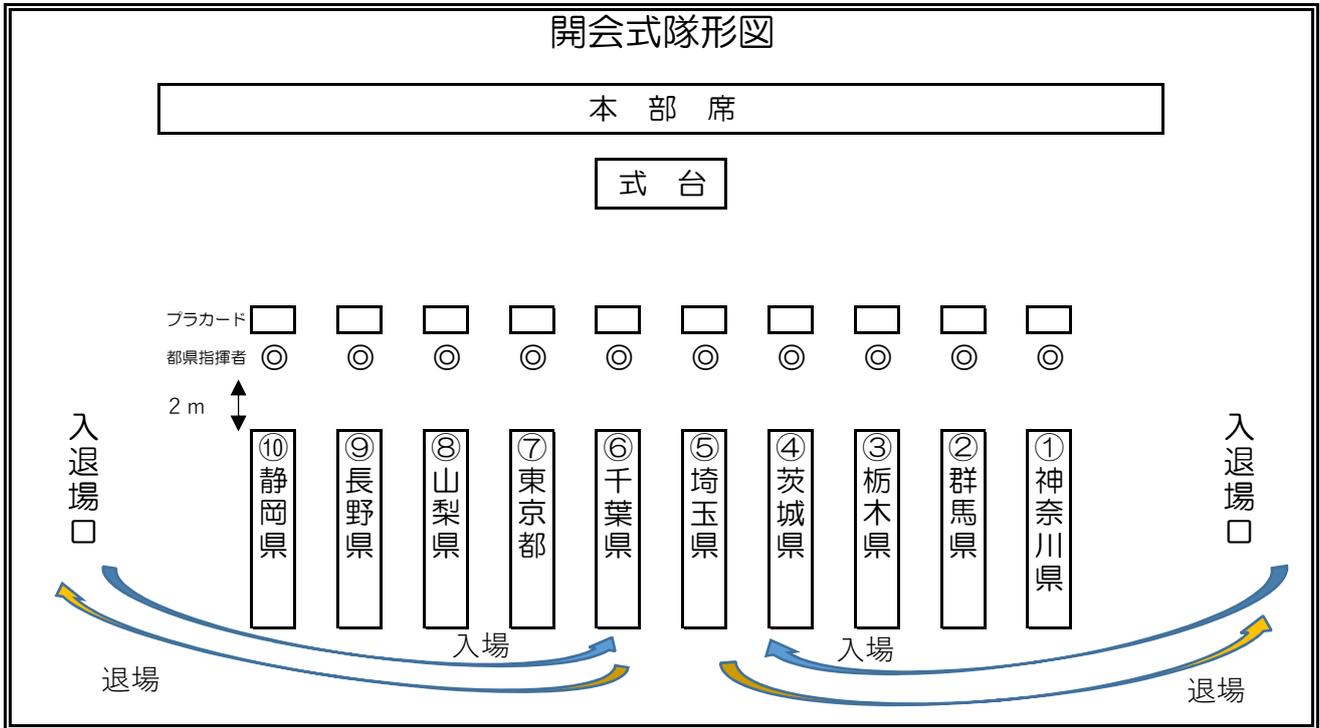
開閉会式要領

《開会式》

開会式は、陸上エリアで行います。開会式に出席する隊員の集合場所及び入退場要領については、次ページ「開会式入退場要領」を参照してください。

- 1 指導会役員、審判長及び審判部長
陸上エリアの本部テント内自席に、9時20分までに着席してください。
- 2 都県指揮者
各都県において、陸上の部の隊員（「引揚救助」の隊員を除く。）から1名を選任してください。
- 3 参加隊員
開会式に参加する隊員数は、各都県指揮者1名及び参加隊員10名としますので、各都県において事前に選任してください。
※ 陸上の部「引揚救助」及び水上の部に出場する隊員は、開会式には参加せず、「訓練進行時系列」（資料2）に定める招集時間までに隊員招集場所に集合してください。
- 4 集合時間（隊員入場）
参加する隊員は、必ず9時30分までに開会式隊形に各都県のプラカード前に整列完了してください。各都県指揮者の指揮により入退場口から適宜入場して下さい。
なお、手袋及びゼッケンの着用は不要です。
- 5 開会式内容について
 - (1) 黙とう
会場アナウンス及び号令に従ってください。なお、黙とう時、隊員は脱帽となります。
 - (2) 国旗掲揚
会場アナウンス及び号令に従ってください。国旗掲揚時の敬礼は、指導会役員、審判長、審判部長及び各都県指揮者は「挙手注目の敬礼」、それ以外の方については「注目の敬礼」とします。
 - (3) 隊員宣誓
会場アナウンスにより、宣誓隊員は「宣誓隊形図」（次ページ）に記載の導線により宣誓位置に移動し、宣誓を実施してください。
なお、隊員等は「基本の姿勢」をとってください。
 - (4) 隊員退場
隊員の退場は、開会式終了後、「各都県指揮者の指揮により退場してください」のアナウンスで、各都県ごと入退場口から退場してください。
- 6 雨天時の開会式要領
 - ア 風雨の状況に応じて規模を縮小して実施します。この場合、会場アナウンスでお知らせします。
 - イ 雨天時の開会式の参加隊員は各都県指揮者のみとし、9時20分までに本部テント内の運営本部に集合してください。詳細は「開閉会式要領」（雨天時）を参照してください。

開会式入退場要領



《閉会式》

閉会式は、陸上エリアで行います。また、閉会式に出席する隊員の入退場要領については、次ページ「閉会式入退場要領」を参照してください。

1 指導会役員、審判長及び審判部長

本部テント内自席に、15時20分までに着席してください。

なお、訓練進行状況により閉会式の開始時間が変更となる場合がありますので御了承ください。

2 都県指揮者

各都県において、陸上の部の隊員等から1名を選任してください。

3 参加隊員

閉会式に参加する隊員は、各都県指揮者1名及び参加隊員10名としますので、各都県において事前に選任してください。

なお、閉会式には代表受賞者も参加します。（5 表彰参照）

4 集合時間（隊員入場）

参加する隊員は、横浜市消防音楽隊の特別演技終了後（予定時刻15時20分）に入退場口付近に各都県ごとに集結し、閉会式開始（予定時刻15時30分）までに「閉会式入退場要領」（次ページ）の閉会式隊形に各都県のプラカード前に整列完了してください。各都県指揮者の指揮により入退場口から適宜入場して下さい。

なお、手袋及びゼッケンの着用は不要です。

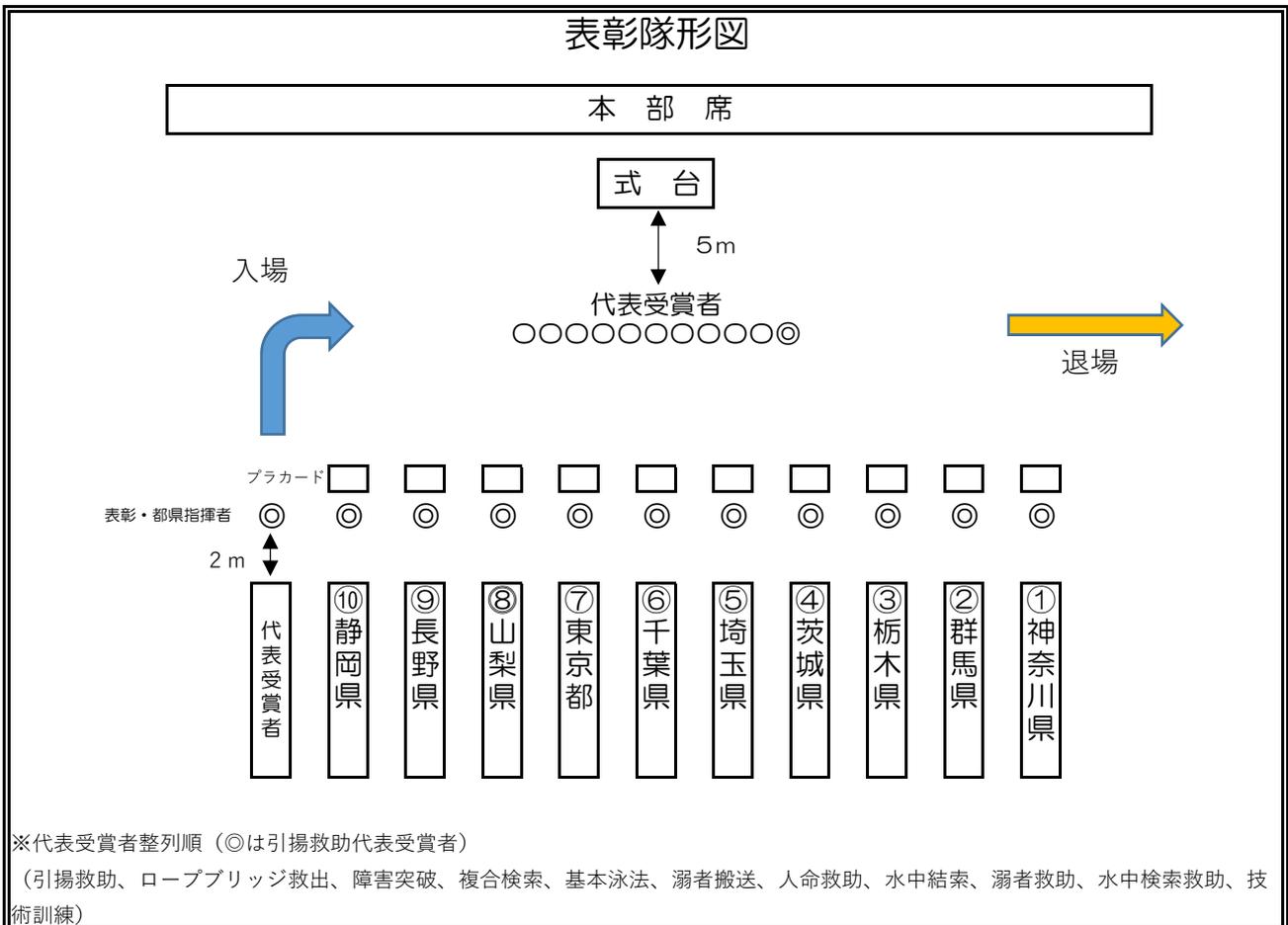
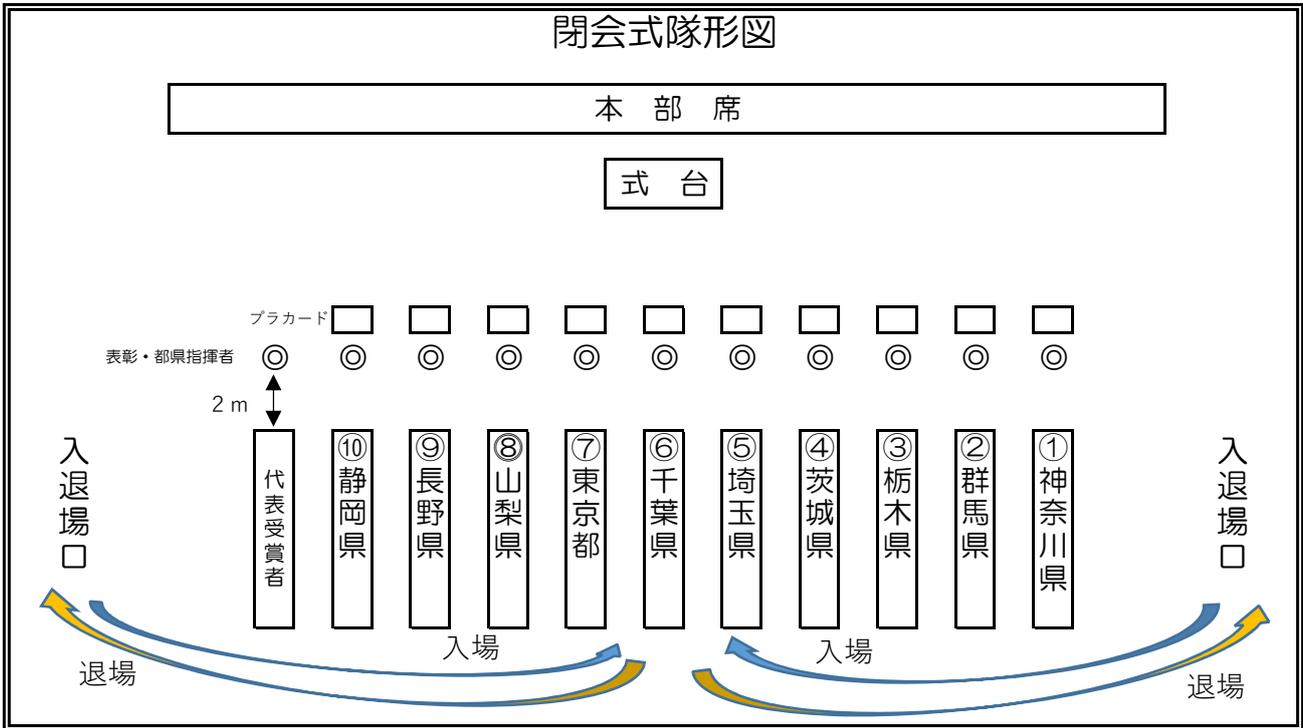
5 表彰

- (1) 表彰は、陸上の部及び水上の部の各訓練種目（技術訓練を含む。）の代表受賞とし、受賞者は各種目代表者1名とします。
- (2) 代表受賞者は、成績掲示板に掲示する訓練結果に表記するとともに、該当の都県連絡員を通じて連絡します。
- (3) 係員から受賞要領の説明を行いますので、15時00分までに「隊員受付」（資料6参照）に集合してください。
※障害突破の代表受賞者については、決定次第集合をお願いします。

6 雨天時

- (1) 風雨の状況に応じて規模を縮小して行います。この場合、会場アナウンスでお知らせします。
- (2) 雨天時の閉会式に参加する隊員は、「開閉会式要領」（雨天時）のとおり、代表受賞者のみとします。

閉会式入退場要領



※代表受賞者整列順 (◎は引揚救助代表受賞者)

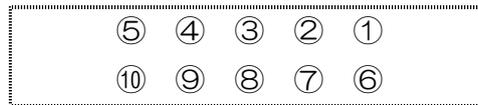
(引揚救助、ロープブリッジ救出、障害突破、複合検索、基本泳法、溺者搬送、人命救助、水中結索、溺者救助、水中検索救助、技術訓練)

開閉会式要領（雨天時）

開会式隊形図



臨時テント

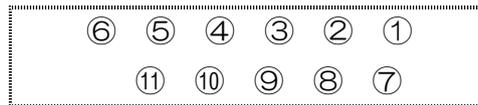


※①神奈川県 ②群馬県 ③栃木県 ④茨城県 ⑤埼玉県 ⑥千葉県 ⑦東京都 ⑧山梨県 ⑨長野県 ⑩静岡県

閉会式隊形図



臨時テント



※①引揚救助 ②ロープブリッジ救出 ③障害突破 ④複合検索 ⑤基本泳法 ⑥溺者搬送
⑦人命救助 ⑧水中結索 ⑨溺者救助 ⑩水中検索救助 ⑪技術訓練

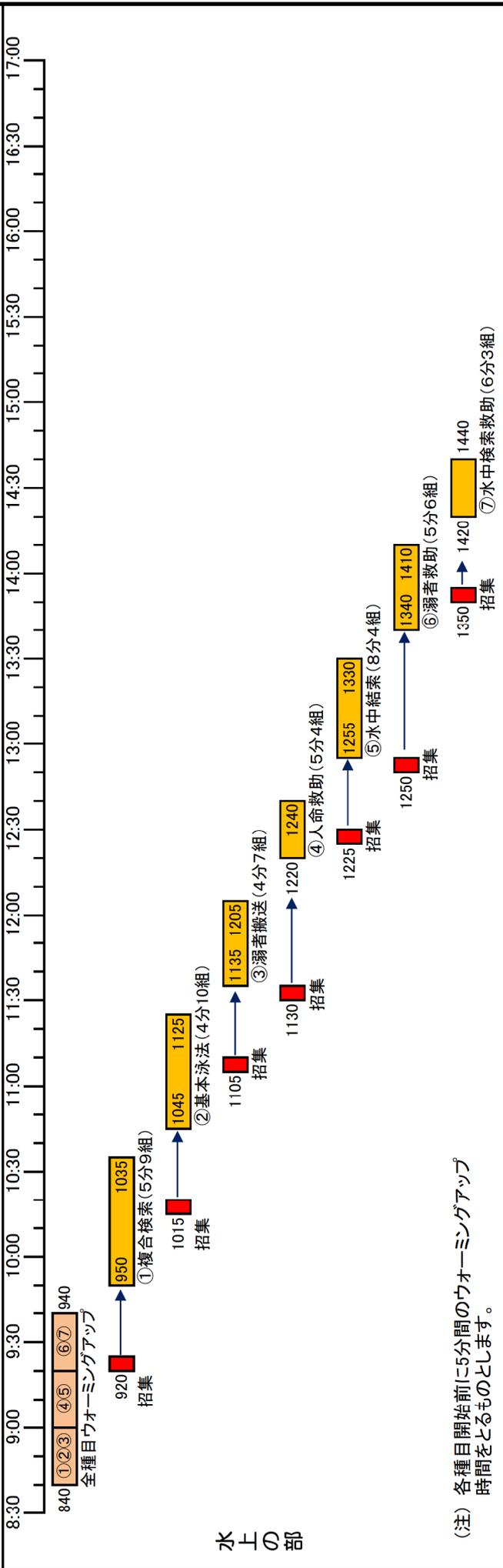
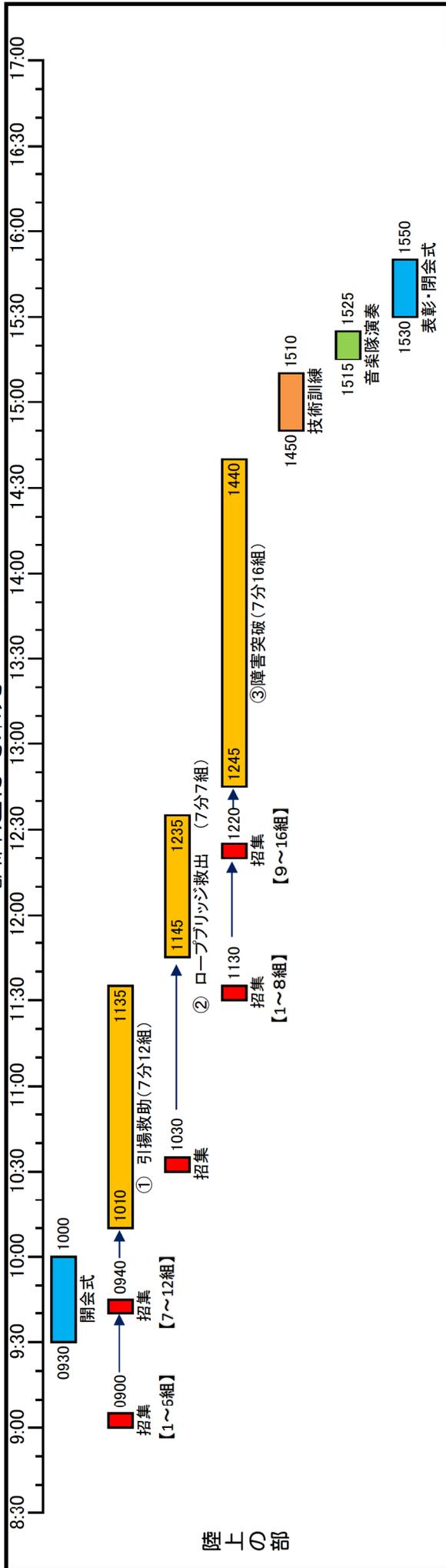
※雨天時は本部テント前に臨時テントを設営します。

※表彰式は臨時テント内で行います。

※開閉会式は一部縮小し、参加隊員は、開会式にあつては各都県指揮者1名、閉会式にあつては代表受賞隊員1名（臨時テント内）とします。

※スペースに限りがあるため、狭隘となりますことを御了承ください。

《訓練進行時系列》



(注) 各種目開始前に5分間のウォーミングアップ時間をとるものとします。

会場アクセス

指導会会場	神奈川県総合防災センター・神奈川県消防学校
所在地	神奈川県厚木市下津古久 280

【車（公用車等）の場合】

※ 一般来場者は、会場敷地に直接乗り入れることが出来ません。2ページ先の【車（一般来場者）の場合】を御確認下さい。



交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原厚木道路の厚木西インターチェンジから約 1.5 キロメートル ・東名高速道路の厚木インターチェンジから約 2.5 キロメートル ・新東名高速道路の厚木南インターチェンジから約 1 キロメートル
--------	--

【公共交通機関（バス・タクシー）の場合】



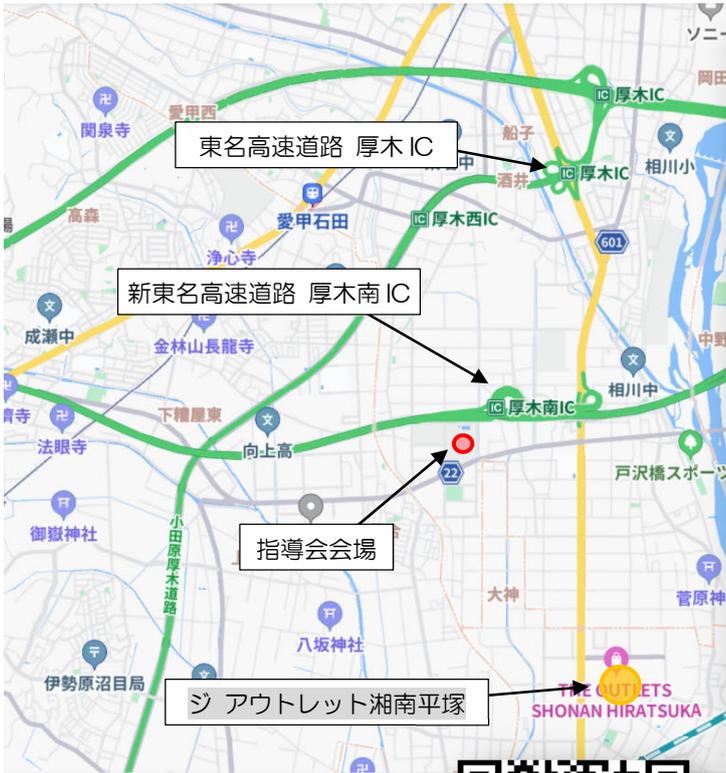
交通アクセス

- 愛甲石田駅 2 番バス乗り場から、（伊 80）伊勢原駅南口行き、または（平 68）平塚駅北口行きで、長沼バス停下車徒歩 5 分となります。
- 愛甲石田駅南口バス乗り場から、（愛 31）歌川産業スクエア経由愛甲石田駅南口行き（歌川循環線）で、下落合交差点バス停下車徒歩 10 分となります。
- 時刻表等については、神奈川中央交通株式会社のホームページをご覧ください。
- 愛甲石田駅タクシー乗り場から約 10 分となります。

【車（一般来場者）の場合】

※一般来場車両は、ジ アウトレット湘南平塚の駐車場（無料）を御利用ください。指導会会場である神奈川県消防学校に一般来場者用の駐車場はありません。
 ※ジ アウトレット湘南平塚駐車場から指導会会場までシャトルバスを運行します。

一般来場者駐車場	ジ アウトレット湘南平塚
所在地	神奈川県平塚市大神八丁目 1 番 1 号



『ジ アウトレット湘南平塚
 駐車場アクセスHP』



高速道路でのアクセス

東京・横浜方面



御殿場方面





① 第1駐車場（乗用車）

- ・ 指導会役員、消防長、来賓
- ・ 訓練運営員、指導会出場隊員

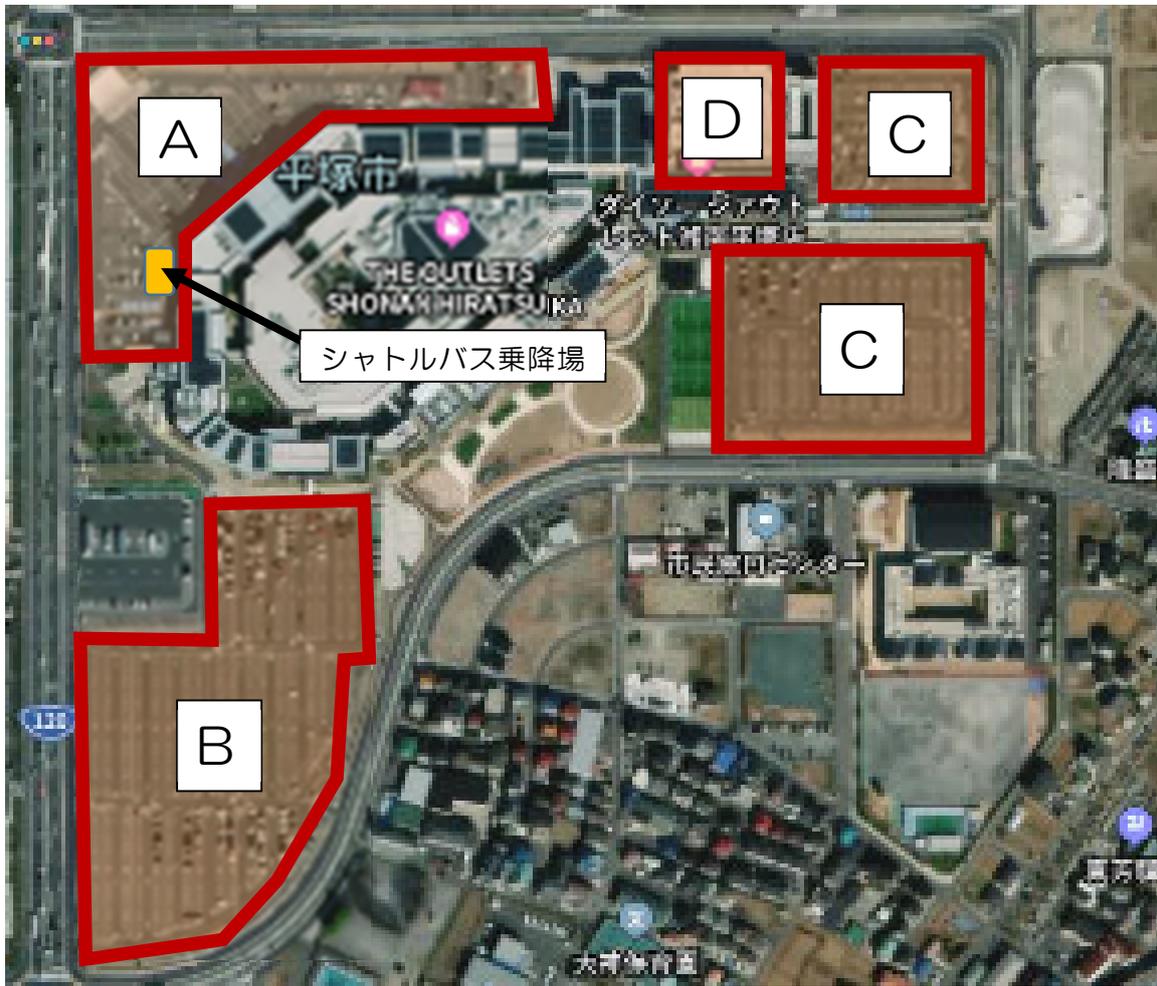
② 第2駐車場（バス・トラック）

- ・ 大型バス、マイクロバス
- ・ 資機材搬送車

③ 第3駐車場（乗用車・二輪）

- ・ 訓練運営員、指導会出場隊員
- ・ 会場設営業者、協賛企業
- ・ 配慮を要する来場者

- ※ 事前に配布された駐車券に記載されている駐車場の番号に従って車両を停めてください。
- ※ 開門は「7時00分」となっております。早めに来場された場合でも、場内に駐車することはできません。
- ※ 路上や周辺施設等（パチンコ店、飲食店）への駐車は絶対にしないでください。



④ 第4駐車場（乗用車）
 ジ アウトレット湘南平塚
 （平塚市大神八丁目 1 番 1 号）

・一般来場者

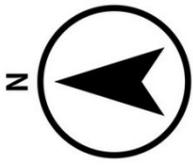
※ 一般来場者用駐車場となります。

※ 開門は「8時00分」となっております。早めに来場された場合でも、場内に駐車することはできません。

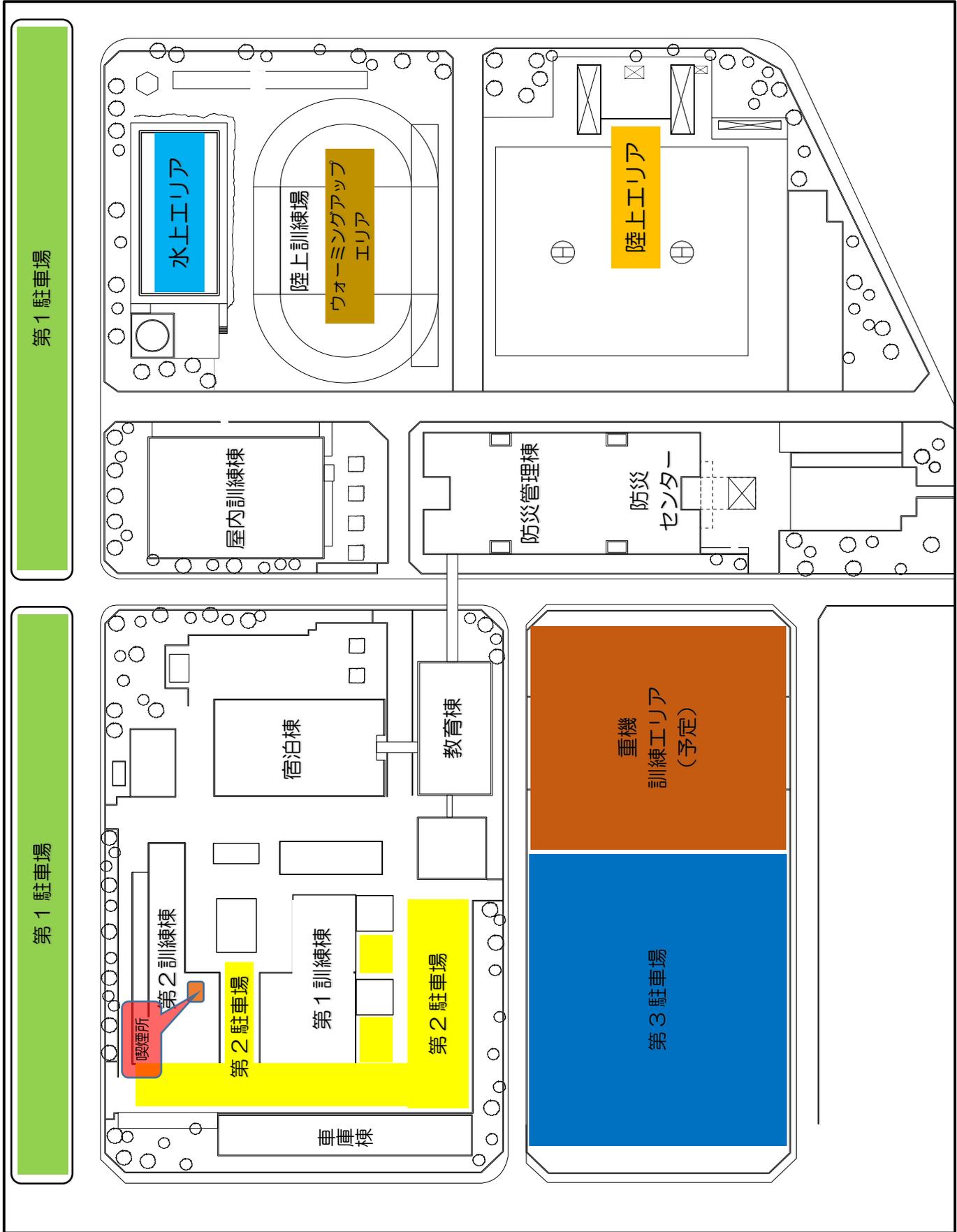
※ ジ アウトレット湘南平塚から神奈川県消防学校までシャトルバスを運行します。

【シャトルバス運行表】

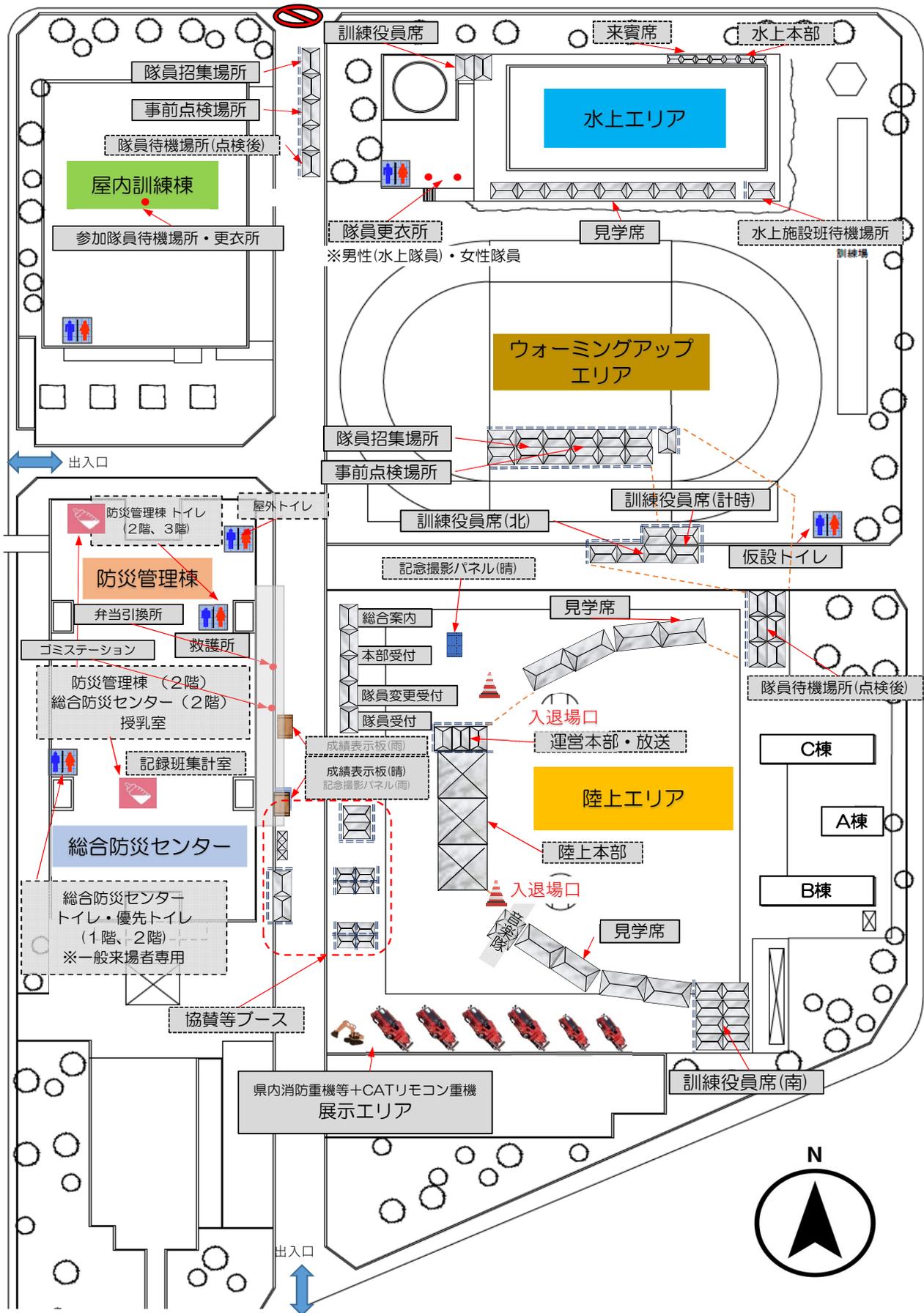
時間	平塚アウトレット発	時間	県消防学校発
8	30・40・50	8	
9	00・10・20・30・40・50	9	
10	00・20・40	10	00・20・40
11	00・20・40	11	00・20・40
12	00・20・40	12	00・20・40
13	00・20・40	13	00・20・40
14	00・20・40	14	00・20・40
15	00・20	15	00・10・20・30・40・50
16		16	00・10・20・30

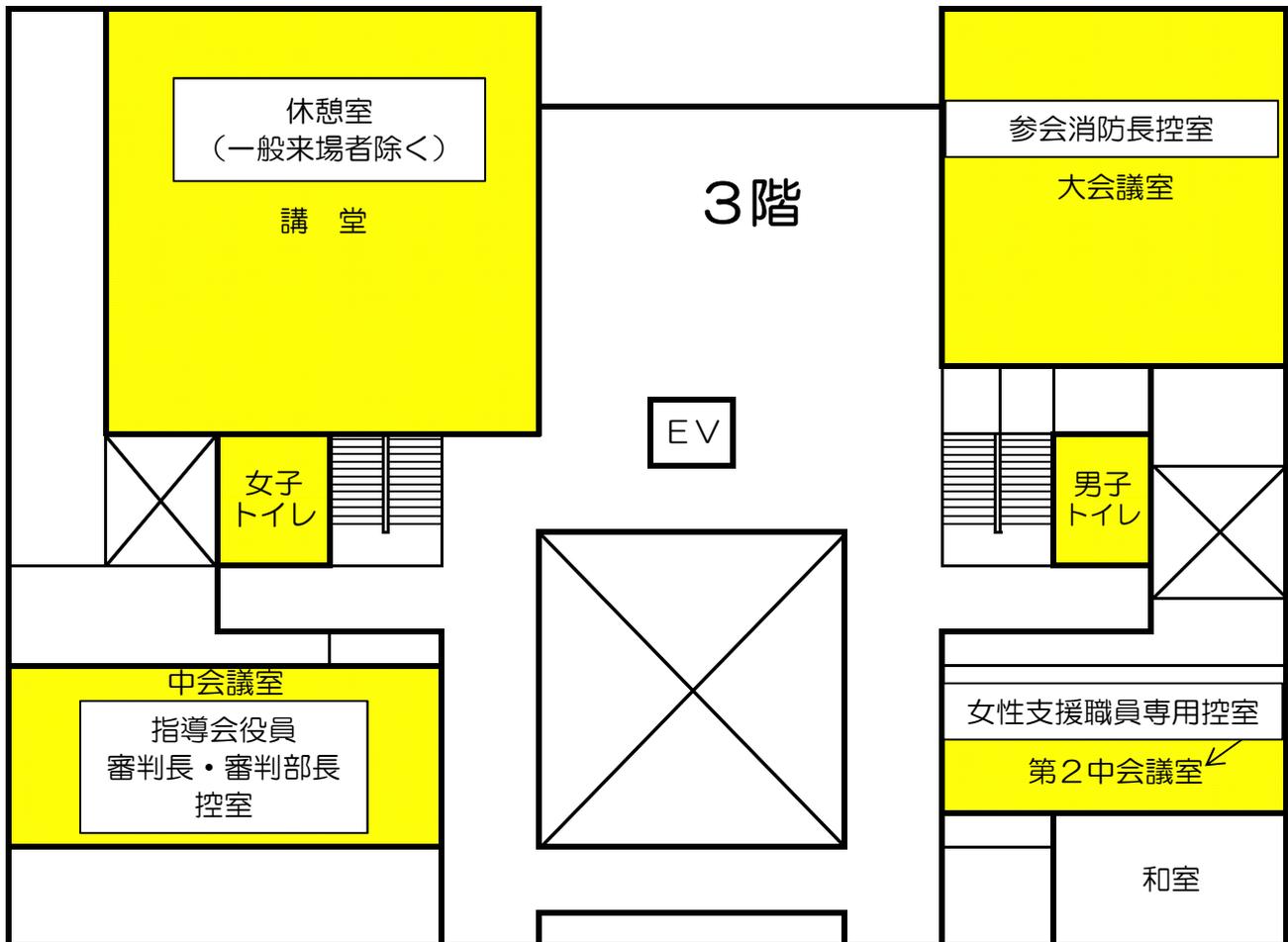
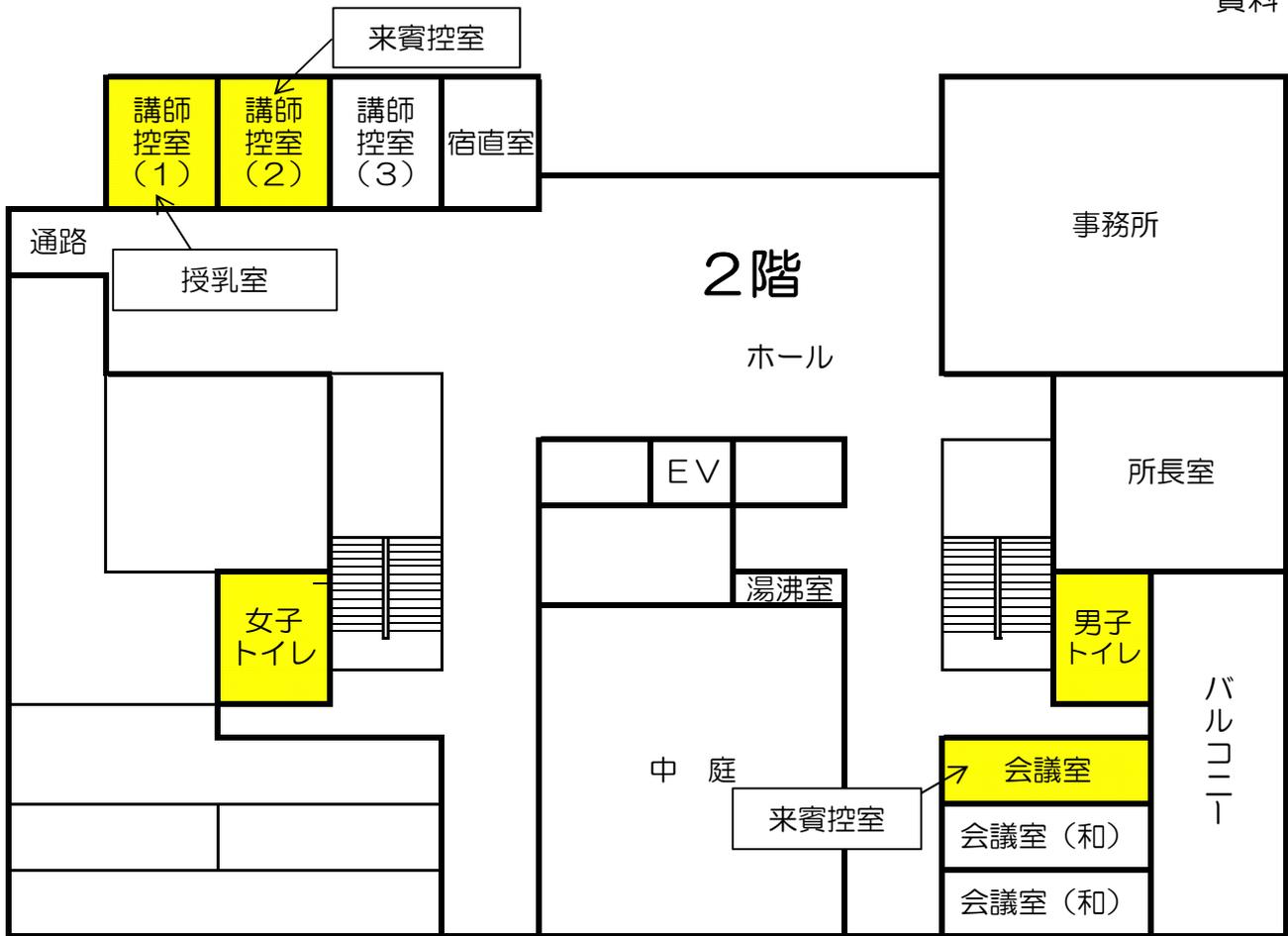


会場全体図

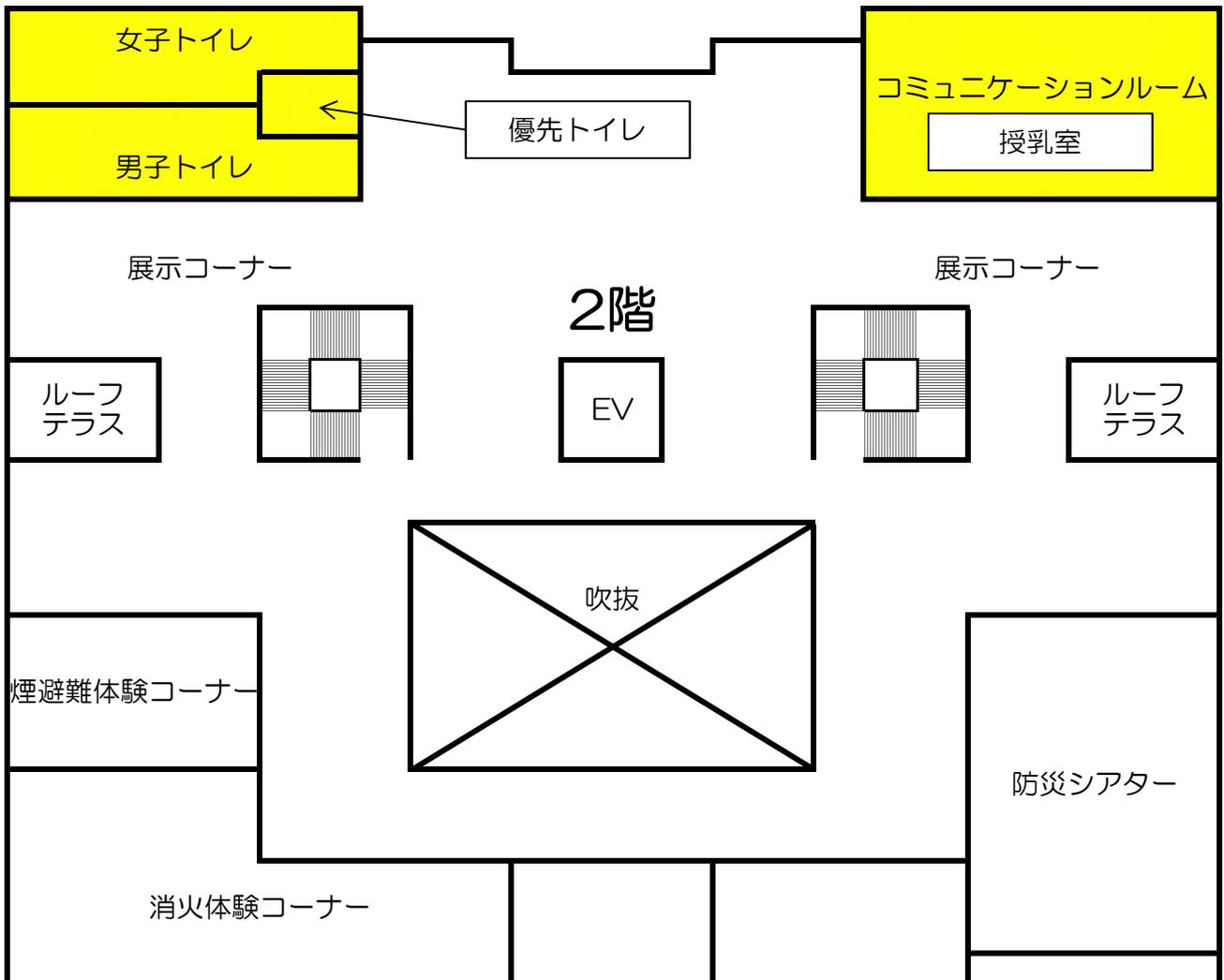
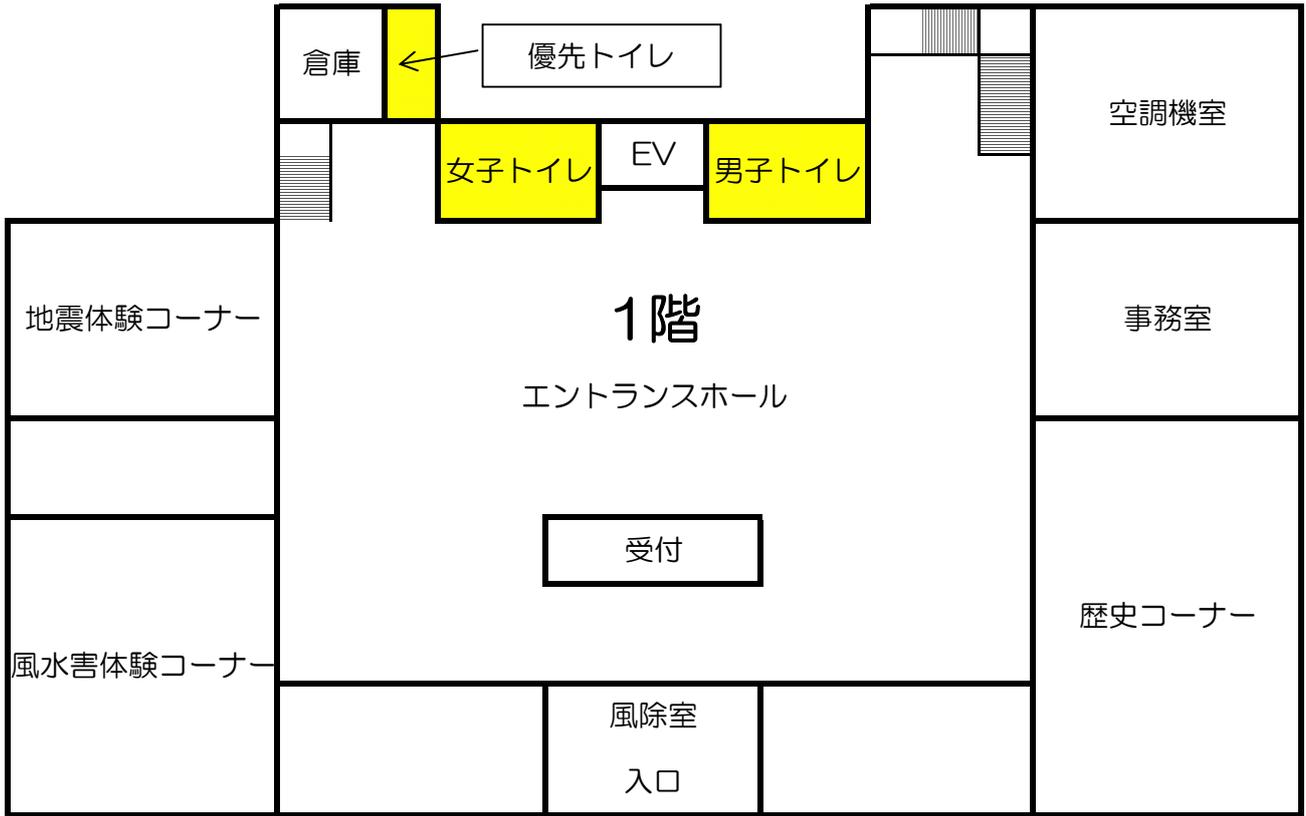


会場詳細図

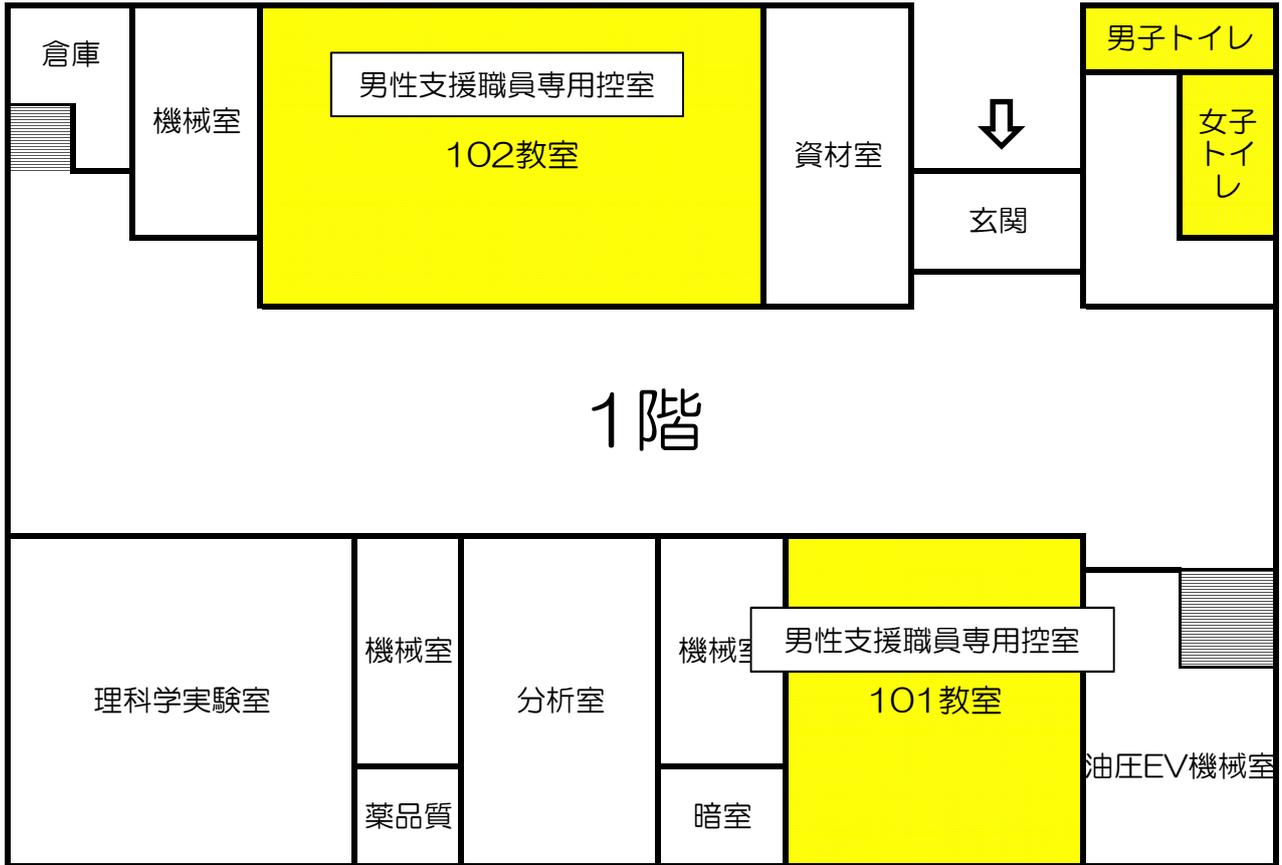




総合防災センター内案内図



教育棟内案内図



審判員訓練種目分担表

	陸上の部			水上の部						
	引揚救助	ロープブリッジ救出	障害突破	複合検索	基本泳法	溺者搬送	人命救助	水中結索	溺者救助	水中検索救助
地区支部	○	○	○							
群馬	事前	◎								
埼玉		事前	1	事前	○	事前	○	事前	○	事前
千葉	1		事前							
東京	2		事前	○	事前	○	事前	○	事前	○
神奈川	事前	1								
山梨		事前	2							
長野		2	事前							
静岡	◎	3								
茨城	事前	4								
栃木		事前	◎							

※◎は担当種目の統括、○は担当種目、数字はコースを示しています。

※事前は、事前審査中に疑義が生じた場合に対応するものとします。

※審判員の墜落制止用器具は、開催地が準備します。

訓練進行要領（陸上の部）

1 訓練共通事項

開催地事務局で準備するロープ、訓練用具及び施設は次の通りとします。

- (1) 東京製綱繊維ロープ(株) ナイロンレンジャーロープ（白・赤色/M打ち）
- (2) 使用カラビナ 伊藤製作所(株) 123 KA102ステンドブルストッパー
- (3) 保護布の仕様は9号綿帆布（20cm×20cm）です。
- (4) ロープ搬送用のベニヤ板は事前点検場所まで、ロープを止めるバンド等は訓練準備場所まで使用は可能です。
- (5) レッドゾーンは砂入り塗料を使用しています。
- (6) 自己確保ロープの長さはカラビナを含めた長さとしします。
- (7) 様式5（訓練用具借用調査表）にて報告された訓練用具以外の当日貸出はありません。

2 訓練の進行

隊員の事前点検

- (1) 隊員は、招集時間までに準備を整え、隊員招集場所に時間厳守で集合してください。
なお、招集時間に集合できなかったチーム又は隊員は、事前点検の順番を後にする場合があります。
- (2) ズボンの横縫目のない救助服を着用している訓練隊員については、事前審査時に「ズボン横縫目」の印としてチョークで体側中央部に表示するとともに、バンドに白のビニールテープを貼付します。（「実施要領」第3審査上の統一事項 2陸上の部に掲げる『（3）座席』及び『（4）命綱』を作成する必要のある訓練隊員のみ）
- (3) 保護布
命綱に保護布を着装する種目については、開催地事務局で準備したものを使用することとし、この時点で着装してください。

3 訓練待機

- (1) 事前点検が終了した隊員は、係員の誘導により隊員待機場所へ移動します。
訓練終了まで陸上エリアから出ることはできません。トイレに行く際は事前審査員に申し出てください。またトイレから戻った際は、再度事前点検を受けてください。
- (2) 飲料水は隊員待機場所まで持ち込み可能です。（1チーム1袋まで）

4 訓練準備の設定時間

各隊員は、実施順番になりましたら、係員の指示に従い、下表の訓練準備時間内に各用具等の設定を完了してください。

なお、塔上にて訓練準備を行う隊員は、訓練準備前に自己確保ロープを設定しても構いません。

用具等の設定時間が超過した場合は、訓練進行に合わせて隊員紹介がかかる場合がありますので、訓練準備時間を厳守してください。

〔訓練準備時間〕

種 目 別	設 定 時 間
ロープブリッジ救出	1 分
障 害 突 破	2 分
引 揚 救 助	3 分

5 隊員の紹介

場内放送により、種目名、組、コース、消防本部を紹介しますので、該当する隊員は一步前に出て右手を垂直に挙げて「はい」と答礼してください。また、すべてのコースの隊員紹介が終了するまで、整列のまま待機してください。

6 スタート準備時間（陸上の部訓練のみ）

訓練進行を円滑に進めるため、消防本部の紹介後、次の順序に沿って、下表に定める時間内にスタート準備を整えるようお願いします。

- (1) 消防本部の紹介後、審査員の「スタート準備」の指示で準備を開始します。
- (2) 準備時間内にスタート準備を整え、「準備よし」の合図をしてください。

なお、スタート準備が整っていない場合でも、準備時間超過後は、自動的に審査員がスターターに合図を送り、訓練を開始します。

〔スタート準備時間〕

訓練種目	準備時間
引揚救助 ロープブリッジ救出 障害突破	20秒以内

7 号砲

- (1) スタート合図は、スターターピストル（雷管）を使用します。

【警笛でピーー】→「用意」の号令で静止し、1～1.5秒後に「号砲」で訓練を開始します。

- (2) 雷管等の不具合で号砲がならなかった場合は、係員の旗等により周知しますので、再度スタート準備を行ってください。進行上、訓練準備に時間がかかると判断される場合については審判長の判断により、当該訓練最終組の後に訓練順序を変更します。

8 用具等撤収

訓練が終了しましたら、次の実施隊員の準備に支障とならないよう、迅速に用具等を撤収し、役員の指示があるまでの間、指定した場所で待機して下さい。

訓練進行要領（水上の部）

1 隊員招集

- (1) 各訓練種目の招集時間は、「訓練進行時系列」（資料2）に定めるとおりとしますので、隊員は持込用具を携行し、隊員招集場所に集合してください。また、訓練の進行状況により招集時間に変更がある場合は、随時、場内放送により連絡しますので、場内放送に注意してください。
- (2) 隊員招集場所に到着した隊員（団体種目にあっては代表者）は、必ず係員に参集した旨の報告を行い、点呼を受けてください。報告順に、係員が出場組、コース別の編成、消防本部名、出場者氏名等の確認を行います。なお、招集時間に集合できなかったチーム又は隊員は、事前点検の順番を後にする場合があります。
- (3) 重複出場等により、本人が集合できない場合は代理の方が集合してください。
- (4) 隊員の確認後、係員から訓練実施上の留意点について説明を行います。
- (5) 事前に貸出訓練用具の申し込みをしている隊員（チーム）は、係員に申し出て、用具貸出場所（事前点検ブース内）で借り受けてください。
- (6) 招集時は訓練用具以外の持ち込みは認めません。ただし、飲料水、タオル及びロープを止めるバンド等は可能とします。

2 事前点検

- (1) 点検は「実施要領」及び「質疑応答集」に基づき行います。
- (2) 持込用具、装備、服装等の事前点検を係員から受けます。
- (3) 係員の点検の結果、不備欠陥等の指摘を受けた場合は、指示されたとおり是正してください。また、交換の指示を受けたものは、速やかに交換を行ってください。
- (4) 不適正用具の持ち込みがあった場合は、実施要領の記載に準じた処置をとります。
- (5) ロープの長さは事前に測定しませんが、訓練実施時に短い場合は訓練続行不可能と判断して審査員が中止させます。
- (6) プールの水質保持のため、持込用具の汚れ等の除去に十分配慮してください。なお、滑り止め剤、テーピング等の使用は認めません。
- (7) 「人命救助」及び「水中検索救助」に使用するマネキンの事前点検は、隊員受付後、7時40分から8時30分までの間に水上エリアのプールサイドにて実施しますので、速やかに搬送のうえ実施してください。なお、マネキンの胸に消防本部名、種目名、組、コースを記載した白テープを張り付けてください。事前点検後は、プールに沈めて保管します。

3 訓練待機

- (1) 事前点検を終了した隊員（チーム）は、係員の指示に従って隊員待機場所へ移動してください。
- (2) 事前点検が終了した隊員は、係員の誘導により隊員待機場所へ移動します。
訓練終了まで水上エリアから出ることはできません。トイレに行く際は事前審査員に申し出てください。またトイレから戻った際は、再度事前点検を受けてください。

4 次番待機

- (1) 次番待機場所への移動は、係員の指示に従ってください。訓練の進行状況により係員が誘導します。
- (2) 次番待機場所に到着後は、いかなる理由でもこの場所を離れることは認めません。
- (3) 待機中は、訓練実施中の隊員（組）の支障とならないよう、立ち上がる等みだりに動かないように注意してください。
- (4) 次番待機場所にかごを置いておきますので、必要に応じて使用してください。

5 隊員紹介

- (1) 次番待機場所から係員の誘導により入場し、各自（各チーム）の訓練実施コースの手前で停止してください。訓練用具を一旦置いた後、隊員紹介位置（行動範囲枠手前線上）に自主整頓し、プールに正対して整列してください。
- (2) 場内放送により、種目名、組、コース、消防本部を紹介しますので、該当する隊員は一步前に出て右手を垂直に挙げて「はい」と答礼してください。また、すべてのコースの隊員紹介が終了するまで、整列のまま待機してください。
- (3) 各訓練種目の第1組目は訓練開始に際し、隊員紹介の前に訓練内容の紹介を行います。

6 訓練共通事項

- (1) マネキンを使用する種目については、実施要領に定める位置の各コース中央に係員が配置します。なお、スタート後に移動した場合は修正しません。また、訓練終了後は速やかにマネキンをプールサイドに引き揚げてください。
- (2) 各種目とも、プールサイドから3mの位置で隊員紹介を受けてください。
- (3) 同組の訓練隊員紹介終了後、審査員の「訓練準備」の号令で、速やかに隊員はスタート準備を行い、「準備よし」（連携訓練の場合は代表）と呼称してください。
なお連携訓練については、「準備よし」の合図をする隊員は、訓練開始前に、審査員に申告してください。

- (4) スタート合図は、スターターピストル（雷管）を使用します。
【警笛でピーー】→「用意」の号令で静止し、1～1.5秒後に「号砲」で訓練を開始します。
- (5) 雷管等の不具合で号砲がなかった場合は、係員の旗等により周知しますので、再度スタート準備を行ってください。進行上、訓練準備に時間がかかると判断される場合については審判長の判断により、当該訓練最終組の後に訓練順序を変更します。
- (6) 訓練終了後は速やかに撤収し、係員の指示により退場してください。また、マネキン・小綱及び持ち込んだタオル等は、速やかに持参し退場してください。
- (7) 様式5（訓練用具借用調査表）にて報告された訓練用具以外の当日貸出はありません。

7 種目別訓練要領

(1) 複合検索

- ア 検索用リングは、すべて黄色シート（30cm×30cm）上に配置します。
- イ 救命浮環は、1本のロープに固定し、両プールサイドの要員で保持します。
- ウ 実施順番になりましたら、係員の指示により自コースでフィンを着装して、マスク、シュノーケルを手に持ち、プールサイドから3mの位置で隊員紹介を受けてください。
- エ 審査員の「訓練準備」の指示により、60秒以内に「準備よし」と呼称してください。
- オ 訓練終了後、マスククリアーの審査を受けたのち、プールサイドに上がり退場してください。

(2) 基本泳法

- ア 実施順番になりましたら、係員の指示により自コースのプールサイドから3mの位置で隊員紹介を受けてください。
- イ 審査員の「訓練準備」の指示により、15秒以内に「準備よし」と呼称してください。

(3) 溺者搬送

- ア 実施順番になりましたら、係員の指示により、プールサイドから3mの位置で隊員紹介を受けてください。
- イ 救助者及び要救助者は、隊員紹介終了後、審査員の「訓練準備、要救助者位置につけ」の指示により、60秒以内に準備を整え「準備よし」と呼称してください。

(4) 人命救助

ア 実施順番になりましたら、係員の指示により各資機材を自コースの用具配置区域に置き、プールサイドから3mの位置で隊員紹介を受けてください。

イ 救助者、補助者及び要救助者は、隊員紹介終了後、審査員の「訓練準備、要救助者位置につけ」の指示により、60秒以内に準備を整え「準備よし」と呼称してください。

(5) 水中結索

ア 結索環の固定については、浮環結着部の1点がスタート側に向くとは限りません。

イ 実施順番になりましたら、係員の指示により、プールサイドから3mの位置で隊員紹介を受けてください。

ウ 審査員の「訓練準備」の指示により、15秒以内に「準備よし」と呼称してください。

(6) 溺者救助

ア 実施順番になりましたら、係員の指示により各資機材を自コースの用具配置区域に置き、プールサイドから3mの位置で隊員紹介を受けてください。

イ 救助者、補助者及び要救助者は、隊員紹介終了後、審査員の「訓練準備、要救助者位置につけ」の指示により、60秒以内に準備を整え「準備よし」と呼称してください。

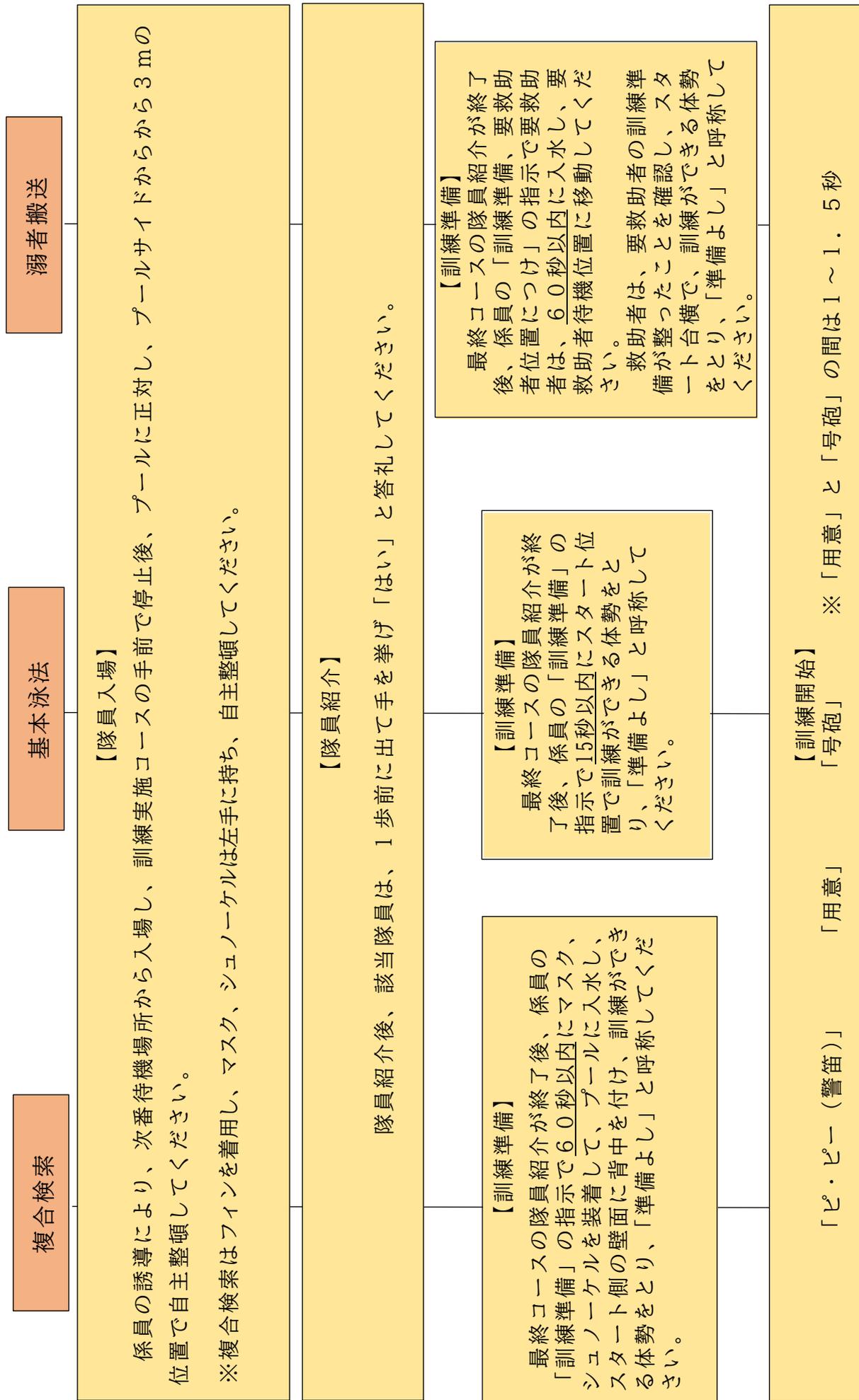
(7) 水中検索救助

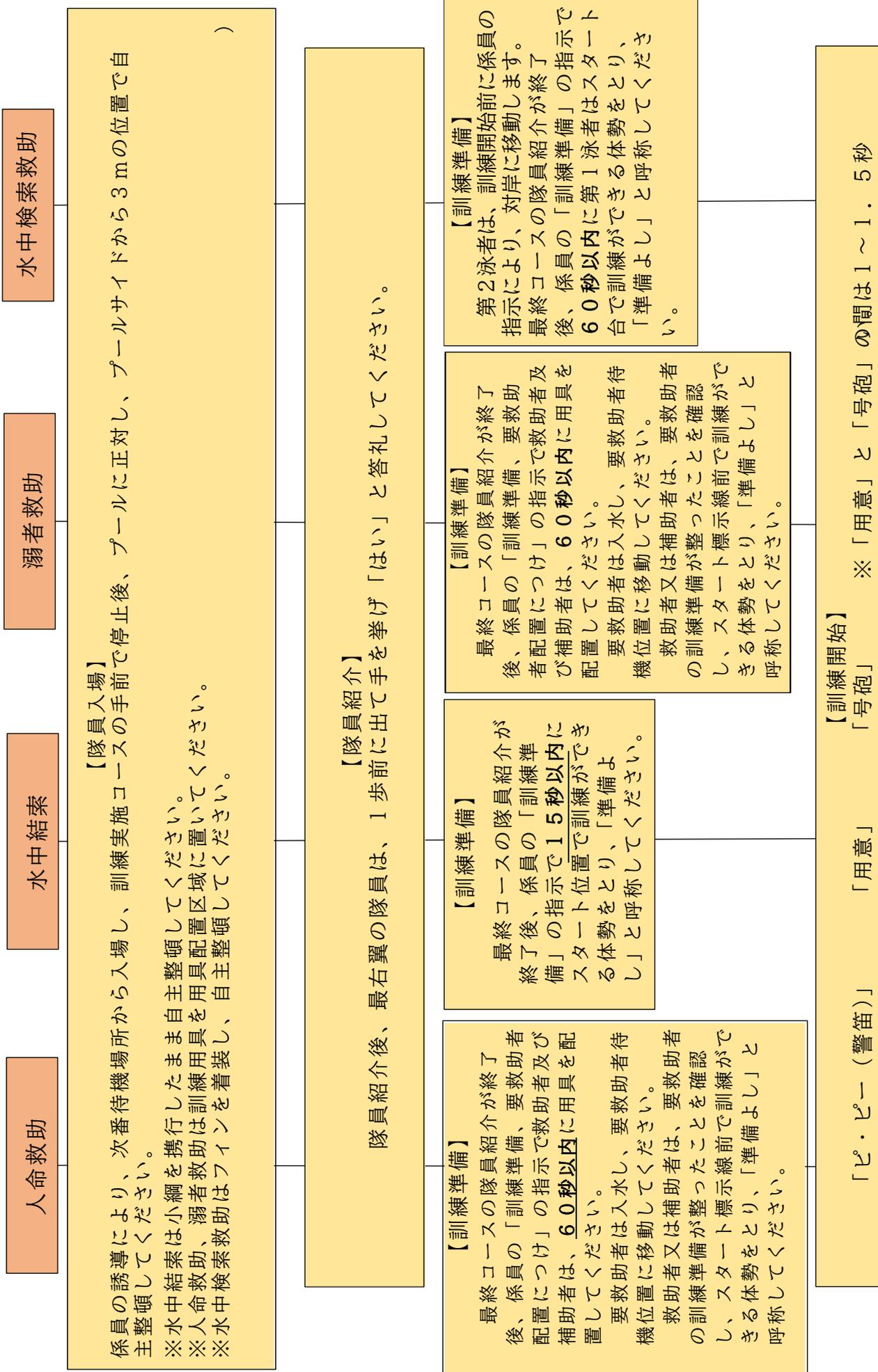
ア 第2泳者は、訓練開始前に係員の指示により、対岸に移動します。

イ 実施順番になりましたら、係員の指示により自コースでフィンを着装して、プールサイドから3mの位置で隊員紹介を受けてください。

ウ 審査員の「訓練準備」の指示により、60秒以内に「準備よし」と呼称してください。

種目別訓練実施フロー（水上の部）





訓練施設概要

1 陸上施設

ア A塔

【障害突破】(写真1参照)

応急ブリッジ用ステージの危険ゾーン幅が、100センチメートルに対し、80センチメートルとなっています。

イ B・C塔

【引揚救助】(写真2参照)

- (1) 塔上施設において、自己確保用パイプの径が10センチメートル、後部支持パイプの径が8センチメートルとなっています。
- (2) 塔上開口部幅の内寸が180センチメートルに対し、170センチメートルとなっています。
- (3) 塔上に安全ネットがなく、防護柵が設けてありません。
- (4) 塔上のステージ奥行きが300センチメートルに対し、320センチメートルになっています。
- (5) 塔上開口部床面に対し、開口部両側床面が30センチメートル後退しています。
- (6) ポール高さが150センチメートルに対し、145センチメートルになっています。また、頭頂部に白旗がついていません。(可倒式ポール)

ウ 【障害突破】(写真3参照)

煙道の床高がグラウンドレベルから23センチメートル高くなっています。

エ 【ロープブリッジ救出】(写真4参照)

単管パイプの直径は8センチメートルになっています。

オ 緊急用資機材の配置

B・C塔下に安全管理対策のため三連はしご及びロープを準備します。

2 水上施設

(1) プール施設概要(資料10-3・図1参照)

施設は、50メートルプールを使用し、各コース幅は2メートルです。

(2) プール断面図(資料10-3・図2参照)

プールの水深は、両端が1.6メートルで、中央が2.0メートルとなっています。

(3) スタート台（写真6参照）

飛び込み台の形状は、高さ30センチメートル、幅40センチメートル、奥行き45センチメートルです。

3 気象状況等による特例

ア 陸上の部訓練

(1) 雨天時は、安全マットに滑り止めカバーを被せます。（写真5参照）

引揚救助・障害突破の全ての安全マットに使用します。

なお、降雨の状況を鑑み取り付けることとしますが、各種目の訓練開始後に天候が急変した場合でも途中で取り付ける、または、取り外しを行うことはありません。

(2) 強風時は、引揚救助訓練の懸垂ロープが降下板から外れないように対応します。

イ 水上の部訓練

水上の部訓練については、雨天及び強風時の特例はありません。

陸上訓練施設概要

1 訓練塔 全景



C塔

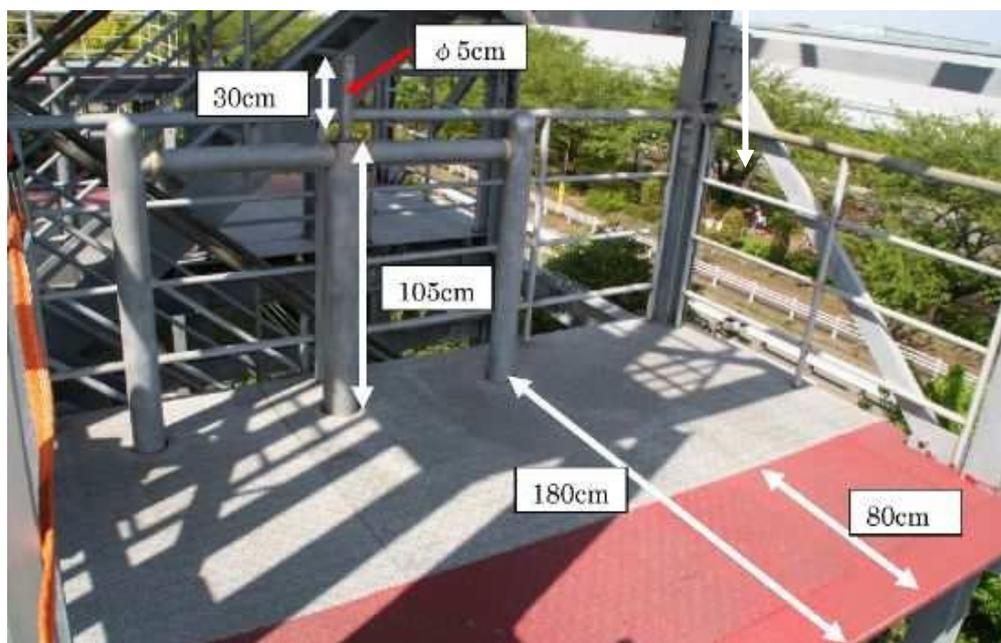
A塔

B塔



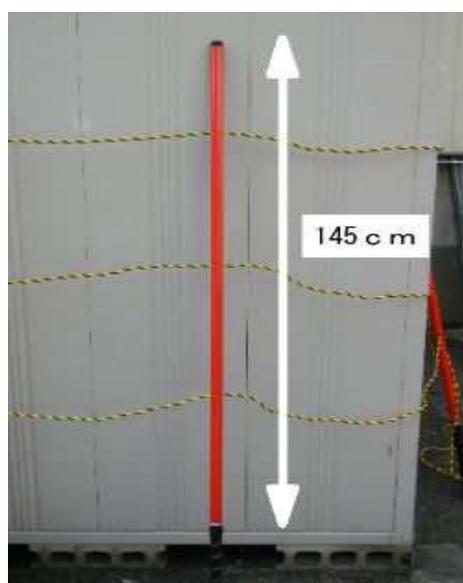
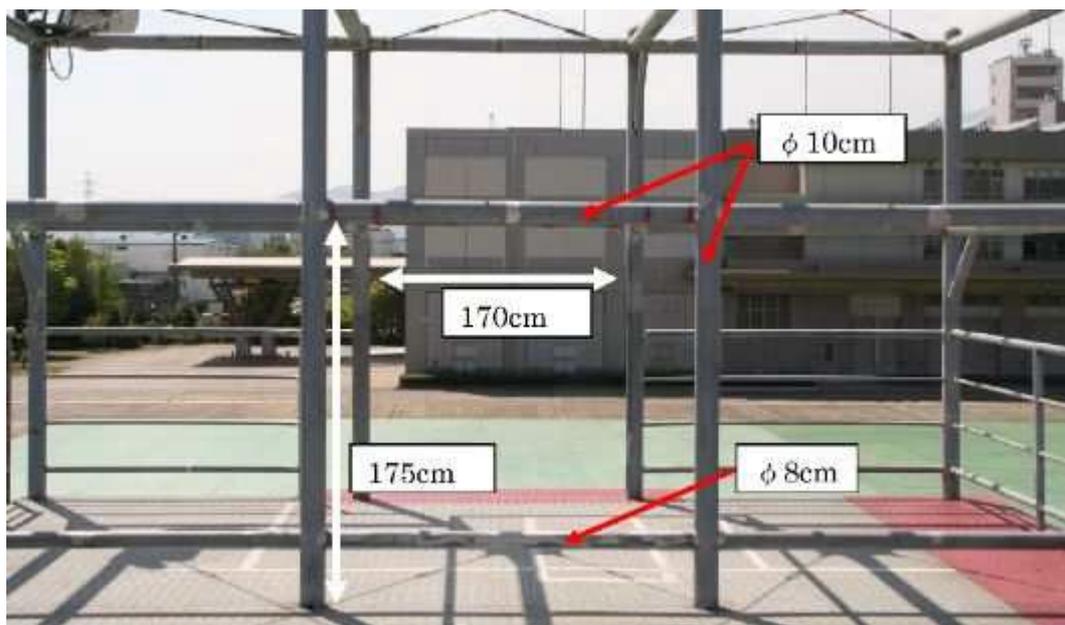
2 A塔施設概要

障害突破（写真1）



3 B・C塔施設概要

(1)引揚救助（写真2）



(2)障害突破 (写真3)



C塔 煙道入口



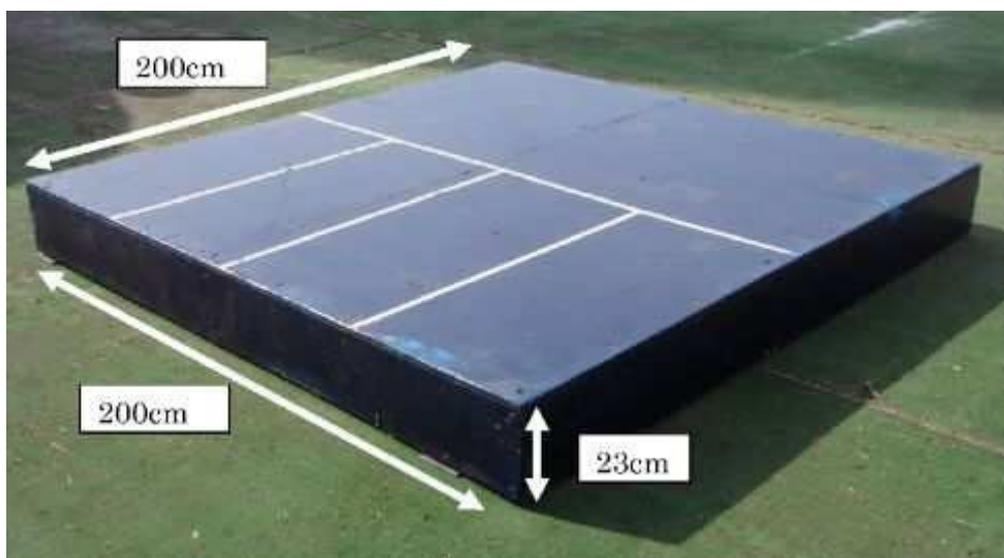
B塔 煙道入口



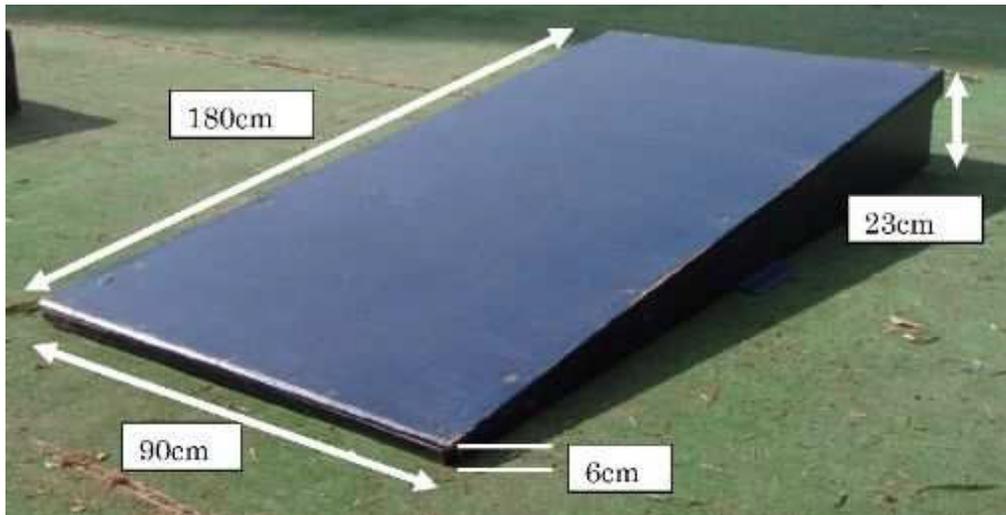
C塔 煙道出口



B塔 煙道出口

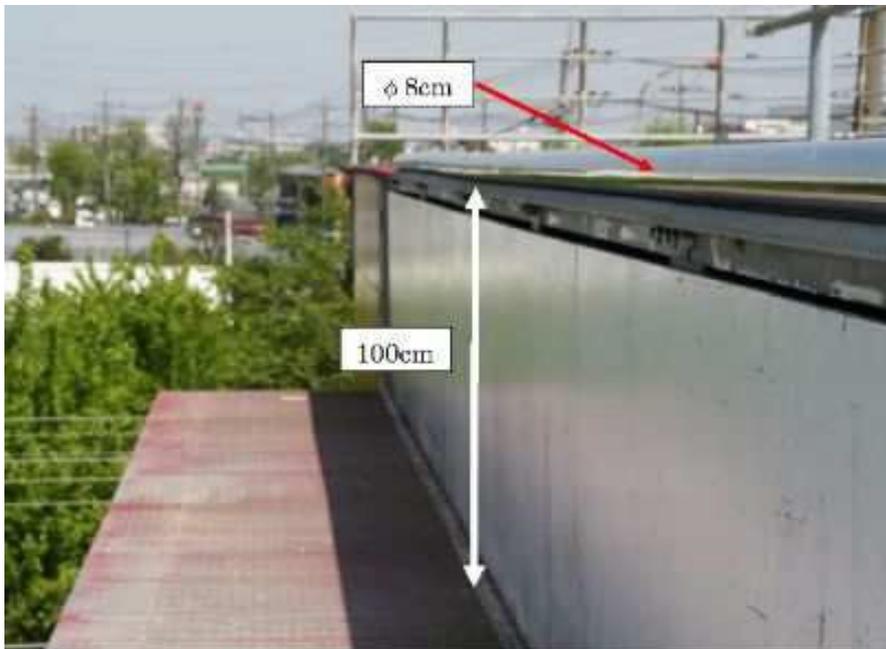


煙道入口台



煙道 出口台

(3) ロープブリッジ救出 (写真4)



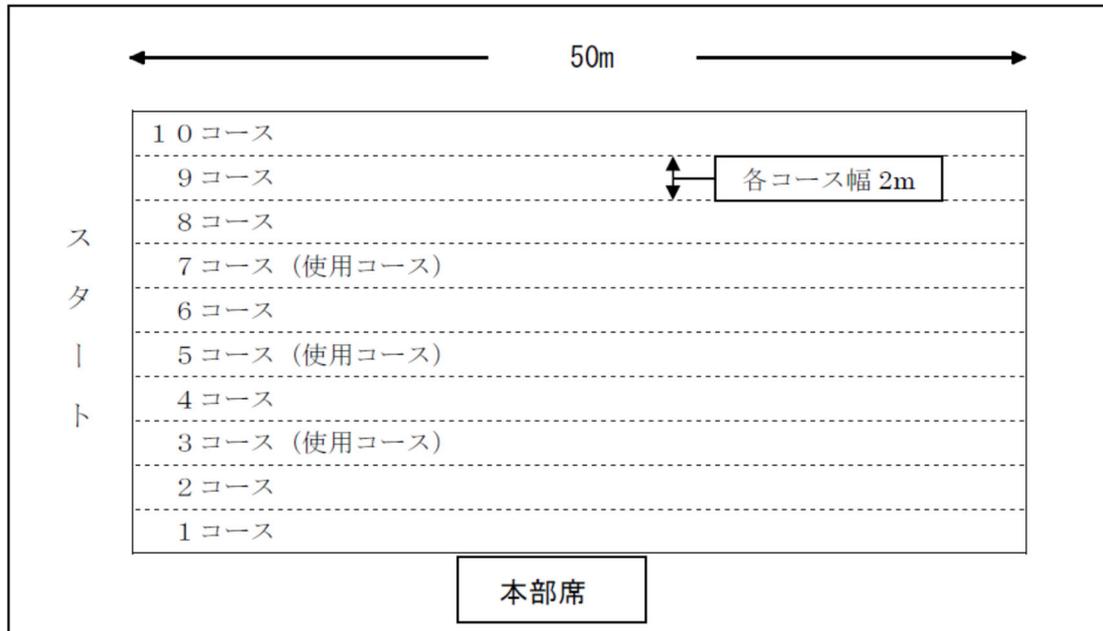
(4) 引揚救助・障害突破 (雨天時) (写真5)



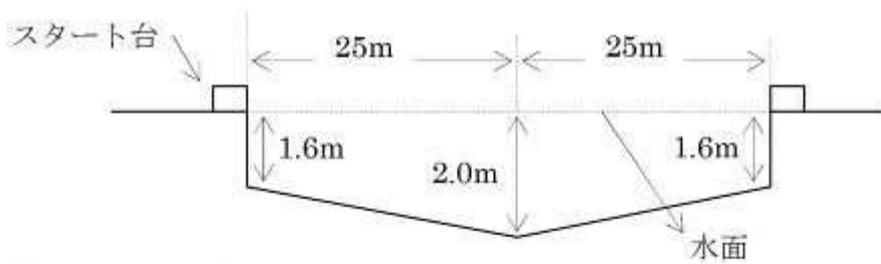
滑り止めカバー表面拡大

水上訓練施設概要

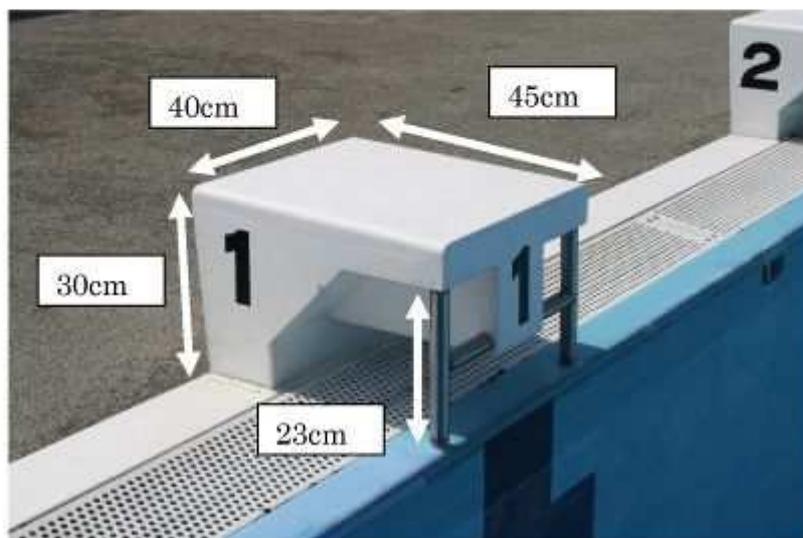
プール施設概要 (図1)



プール断面図 (図2)



スタート台 (写真6)



神奈川県内消防重機の展示等について

1 概要

神奈川県内消防本部に配置の消防重機が指導会会場に集結し、展示等を行います。

2 参加消防本部

- (1) 横浜市消防局
- (2) 川崎市消防局
- (3) 横須賀市消防局
- (4) 相模原市消防局
- (5) 厚木市消防本部

3 詳細内容

下表のとおり予定していますが、消防救助技術指導会の運営が優先となるため、内容が変更となる場合があります。

なお、第2部については第3駐車場の駐車台数により訓練に使用できる範囲が変わります。見学をされる場合は、訓練隊員等の指示に従ってください。

	内容	時間	場所	概要
第1部	(1)消防重機の展示	9:00~12:00	陸上エリア (下図①)	消防重機を展示します。 (搬送車に積載の状態です。)
第2部	(2)車両特性紹介	13:00~15:10	第3駐車場敷地 (下図②)	各消防本部ごと、保有車両の特性を紹介します。
	(3)合同訓練	15:10~16:00※		消防重機を活用し、各隊が連携し訓練を行います。

※指導会は終了していますが、訓練は継続して行います。



種目別出場隊員名簿

都県名 _____

消防本部名 _____

種目別	区分	階級	氏 名	年 齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)			
					チーム(人員)数			
引揚救助	1			#NUM!				
				#NUM!				
				#NUM!				
				#NUM!				
				#NUM!				
	2				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	3				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			

種目別出場隊員名簿

都県名 _____

消防本部名 _____

種目別	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)			
					チーム(人員)数			
ロープブリッジ救出	1			#NUM!				
				#NUM!				
				#NUM!				
				#NUM!				
	2				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	3				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			

種目別出場隊員名簿

都県名 _____

消防本部名 _____

種目別	チーム(人員)数	区分	階級	氏 名	年 齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)		
障害突破	※ 1 ・ 2	1			#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	※ 1 ・ 2	2			#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	※ 1 ・ 2	3			#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			

注 障害突破については、希望コースを指定してください
(※印の1は1コース:右入り、2は2コース左入り)

種目別出場隊員名簿

都県名 _____

消防本部名 _____

種目別	チーム(人員)数	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)			個人種目 全国大会 出場経験 の有無
複合検索	1				#NUM!				
	2				#NUM!				
	3				#NUM!				
基本泳法	1				#NUM!				
	2				#NUM!				
	3				#NUM!				
溺者搬送	1				#NUM!				
					#NUM!				
	2				#NUM!				
					#NUM!				
	3				#NUM!				
					#NUM!				

※ 水上基礎訓練については、第35回全国消防救助技術大会以降の入賞経験者及び第39回全国

消防救助技術大会以降の複合検索入賞経験者は全国消防救助技術大会実施計画の出場制限

により全国消防救助技術大会へ出場することはできません。

種目別出場隊員名簿

都県名 _____

消防本部名 _____

種目別	区分	チーム(人員)数	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)		
						年	月	日
人命救助	1				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	2				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	3				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
水中結索	1				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	2				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	3				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			

種目別出場隊員名簿

都県名 _____

消防本部名 _____

種目別	区分	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1990 4 1)			
					チーム(人員)数			
溺者救助	1			#NUM!				
				#NUM!				
				#NUM!				
	2				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	3				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			

種目別出場隊員名簿

都県名 _____

消防本部名 _____

種目別	区分 チーム(人員)数	階級	氏名	年齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1970 4 1)			
					年	月	日	
水中検索救助	1			#NUM!				
				#NUM!				
				#NUM!				
				#NUM!				
	2				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
	3				#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			
					#NUM!			

重複出場隊員調査表

複数の訓練種目に出場する隊員がいる場合は、下表に入力してください。(技術訓練を除く)

【陸上の部】				
都県名	消防本部名	氏名	訓練種目①	訓練種目②
計				

人

【水上の部】				
都県名	消防本部名	氏名	訓練種目①	訓練種目②
計				

人

訓練用具借用調査表

消防本部	
都県名	
消防本部名	

担当者	
役職・氏名	
電話番号	

訓練用具名	数量		備考
カラビナ		個	(株)伊藤製作所 1.2.3 KA102ステンダブルストッパー
小綱		本	東京製綱繊維ロープ(株) ナイロンレンジャーロープ(白・赤/M打ち)
救助ロープ		本	20m 東京製綱繊維ロープ(株) ナイロンレンジャーロープ(白・赤/M打ち)
		本	30m 東京製綱繊維ロープ(株) ナイロンレンジャーロープ(白・赤/M打ち)
		本	40m 東京製綱繊維ロープ(株) ナイロンレンジャーロープ(白・赤/M打ち)
		本	50m 東京製綱繊維ロープ(株) ナイロンレンジャーロープ(白・赤/M打ち)
		本	30m水上用フローティングロープ
空気呼吸器		器	エア・ウォーター防災(株) ライフゼムNM30型(陽圧式)
空気呼吸器用ポンベ		本	エア・ウォーター防災(株) 軽量ポンベ
救助用縛帯		個	引揚救助 藤井電気(株)
安全ベルト		個	障害突破・ロープブリッジ救出・引揚救助 藤井電気(株)TUB-L90N
マネキン		体	人命救助・水中検索救助
小型救命浮環		個	溺者救助

(No.) 隊員変更届出書

都県名 ・ 消防本部名		
陸上 ・ 水上 (○印)	種目	
	組	コース

変更前(該当者のみ)			変更後(該当者のみ)						
ゼッケン (陸上のみ)	階 級	氏 名	ゼッケン (陸上のみ)	階 級	氏 名	年 齢 才・月	生年月日(西暦で 記入:1970 4 1)		
						#NUM!			
						#NUM!			
						#NUM!			
						#NUM!			
						#NUM!			

- 注1 受付時間は、全種目とも8時30分までとします。
- 注2 階級欄は、消防士は「士」、消防副士長は「副士長」、消防士長は「士長」、消防司令補は「司令補」と記入してください。
- 注3 生年月日欄は西暦で記入し、年齢の基準日は、指導会当日の満年齢とします。
- 注4 棄権の場合は、変更後の欄に「棄権」と記入してください。

※ 水上基礎訓練については、第35回全国消防救助技術大会以降の入賞経験者及び第39回全国消防救助技術大会以降の複合検索入賞経験者は全国消防救助技術大会実施計画の出場制限により全国消防救助技術大会へ出場することはできません。

審判長確認

配布先 チェック欄	受付	進行	招集	審査	計時	記録	表彰
担当者署名							

連絡員受付 署名欄

(受付時間～)

服装（同一仕様）に係る報告書（陸上の部）

都県名		担当者	課・係	
			担当者 氏名	
消防本部名			TEL	
			Eメール	

訓練種目名				
訓練隊員 階級及び氏名	階級	訓練隊員氏名	階級	訓練隊員氏名

＜報告の理由＞	
<p>(例文) 当消防本部については、令和〇〇年〇月〇日付けで〇〇消防本部並びに△△消防本部の合併により（消防本部内の救助服仕様変更により）、同一仕様が図れないもの。</p>	
備考	

※「報告理由」については、例文を参考に簡潔に記載してください。

※ 開催地事務局より確認の連絡をさせていただきます。

※ 電子メールにて回報してください。

施設開放訓練希望調査表

都県名：

消防本部名：

引率責任者	階 級		氏 名		連 絡 先	
参 加 日	7月1日(火)、7月2日(水)のいずれか希望日を 右枠に記入してください。				月	日
参加時間	時 分 ~ 時 分					
訓 練 種 目 及 参 加 人 員	種 目 名	種 目 責 任 者		参加人員 (参加種目)	参加チーム数 (団体種目)	
		階 級	氏 名			
					人	チーム
					人	チーム
					人	チーム
					人	チーム
					人	チーム
					人	チーム
					人	チーム
		合 計 種 目	種 目			0 人
備 考	※ 陸上・水上で1枚ずつ分けて作成して下さい。 ※ 1日につき1枚作成して下さい。					